

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-T20

使用説明書

BL00004889-104

JA

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

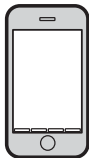
最新情報について

本製品の最新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。





目次


メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	27
3 基本的な撮影と再生	47
4 動画の撮影と再生	53
5 撮影に関する設定	61
6 撮影メニュー	113
7 画像の再生と再生メニュー	173
8 セットアップメニュー	199
9 ショートカット機能	241
10 オプション品・外部機器の使い方	255
11 他機器との接続	277
12 資料	289

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (113)。

IQ	画質設定	
1/3	画像サイズ	115
	画質モード	116
	RAW 記録方式	117
	フィルムシミュレーション	118
	グレイン・エフェクト	120
	ダイナミックレンジ	121
	ホワイトバランス	122
	ハイライトトーン	126
2/3	シャドウトーン	126
	カラー	127
	シャープネス	127
	ノイズリダクション	128
	長秒時ノイズ低減	128
	点像復元処理	129
	色空間	129
	ピクセルマッピング	130
3/3	カスタム選択	131
	カスタム登録 / 編集	132

AF/MF	フォーカス設定	
1/2	フォーカスエリア選択	133
	AF モード	134
	AF-C カスタム設定	135
	AF ポイント表示 	136
	フォーカス点数切り替え	136
	プリ AF	137
	AF 補助光	137
	顔検出 / 瞳 AF 設定	138
2/2	AF+MF	140
	MF アシスト	141
	フォーカスチェック	141
	測光&フォーカスエリア連動	142
	ワンプッシュ AF 時の動作	142
	被写界深度スケール	143
	レリーズ優先 / フォーカス優先	143
	タッチパネルモード	144


📷 撮影設定		📖
1/2	シーン選択	148
	ドライブ設定	149
	セルフタイマー	151
	インターバルタイマー撮影	152
	測光	154
	シャッター方式	155
	ブレ防止モード	156
	感度	157
2/2	マウントアダプター設定	160
	ワイヤレス通信	163

⚡ フラッシュ設定		📖
	フラッシュ機能設定	164
	赤目補正	165
	TTL-LOCK モード	166
	LED ライト設定	167
	MASTER 設定	168
	CH 設定	168

🎞️ 動画設定		📖
	動画モード	169
	動画 AF モード	170
	HDMI 出力情報表示	170
	4K 映像出力先	171
	HDMI レックコントロール	171
	マイクレベル設定	172
	マイク/リモートリリース設定	172

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。


 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 180)。

🔄 再生メニュー		📖
1/2	RAW 現像	180
	消去	183
	トリミング	186
	リサイズ	187
	プロテクト	188
	画像回転	189
	赤目補正	190
	ワイヤレス通信	191

🔄 再生メニュー		📖
2/2	スライドショー	191
	フォトブックアシスト	192
	PC 保存	194
	プリント予約 (DPOF)	195
	instax プリンタープリント	197
	表示比率	198



セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (📖 199)。

 基本設定	
フォーマット	201
日時設定	202
世界時計	203
言語/LANG.	204
マイメニュー設定	204
センサークリーニング	206
電子音 & フラッシュ	206
リセット	207

 音設定	
AF 合焦音量	208
セルフタイマー音量	209
操作音量	209
シャッター音量	210
シャッター音	210
再生音量	211

 表示設定	
EVF 明るさ	212
EVF 鮮やかさ	213
LCD 明るさ	213
LCD 鮮やかさ	214
1/2 撮影画像表示	214
EVF 縦横自動回転表示	215
マニュアル時モニター露出/ WB 反映	215
モニター撮影効果反映	216
2/2 フレーミングガイド	217
縦横自動回転再生	218
距離指標の単位	218
画面のカスタマイズ	219

📌 操作ボタン・ダイヤル設定		📖
1/2	クイックメニュー登録 / 編集	222
	Fn/AE-L/AF-L ボタン設定	224
	セレクターボタン設定	226
	コマンドダイヤル設定	226
	半押し AF	227
	半押し AE	227
	レンズなしリリース	228
フォーカスリング	228	
2/2	AE/AF-LOCK 設定	229
	絞り設定	229
	タッチパネル設定	230
📌 消費電力設定		📖
	自動電源 OFF	231
	パフォーマンス	232

📌 保存設定		📖
	コマ NO.	234
	処理前画像記録	235
	ファイル名編集	235
	著作権情報	236
📌 接続設定		📖
	ワイヤレス設定	237
	PC 保存先設定	238
	位置情報設定	238
	instax プリンター接続設定	239



目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	v
セットアップメニュー	vi
目次	viii
付属品一覧	xix
本書について	xx
本書で使われている記号について	xx
画面のイラストや写真について	xx
表記について	xx

1 このカメラの概要

1

各部の名称と機能	2
銘板プレートについて	4
セレクターボタン	4
シャッタースピードダイヤル	5
露出補正ダイヤル	5
ドライブダイヤル	6
オートモード切換レバー	7
コマンドダイヤル	8
インジケータランプ	10
液晶モニター	11
視度調節ダイヤル	11









撮影時の表示画面	12
EVF/LCD の表示画面	12
EVF と LCD の切り替え	14
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	15
縦表示について	15
情報表示の切り替え	16
「スタンダード」画面のカスタマイズ	17
メニューの使い方	20
タッチ操作について	22
撮影時のタッチ操作について	22
再生時のタッチ操作について	24




2 撮影の準備 27

ストラップを取り付ける	28
レンズを取り付ける	30
バッテリーを充電する	32
バッテリーとメモリーカードを入れる	36
使用可能なメモリーカード	40
電源をオンにする / オフにする	42
バッテリー残量の表示	43
初期設定を行う	44
言語を変更する	46
日時を変更する	46


3 基本的な撮影と再生 47



プログラムで静止画を撮影する	48
▶ 静止画を再生する	51
☞ 画像を消去する	52

4	動画の撮影と再生	53
	 動画を撮影する.....	54
	動画の設定について.....	57
	 動画を再生する.....	58
5	撮影に関する設定	61
	撮影モードを変更する.....	62
	プログラム (P) 撮影.....	62
	シャッタースピード優先 (S) 撮影.....	64
	絞り優先 (A) 撮影.....	69
	マニュアル (M) 撮影.....	72
	オートモード撮影.....	74
	オートフォーカス撮影.....	77
	フォーカスモード.....	78
	AF モードの選択.....	80
	フォーカスエリアの変更.....	82
	マニュアルフォーカス撮影.....	87
	ピントの確認方法.....	89
	 露出補正.....	91
	C (カスタム) について.....	91
	AE/AF ロック撮影.....	92
	ボタンによる AE/AF ロック.....	93
	BKT ブラケティング撮影.....	94
	 AE ブラケティング.....	95
	 ISO ブラケティング.....	95
	 フィルムシミュレーション BKT.....	95
	 ホワイトバランス BKT.....	96
	 ダイナミックレンジ BKT.....	96

 連続撮影 (連写)	97
ADV.アドバンストフィルター撮影	99
アドバンストフィルターの種類	100
 多重露出撮影	101
 パノラマ撮影	103
フラッシュ撮影	107
フラッシュ機能設定	109

6 撮影メニュー 113

 撮影メニュー (画質設定)	114
画像サイズ	115
画質モード	116
RAW 記録方式	117
フィルムシミュレーション	118
グレイン・エフェクト	120
ダイナミックレンジ	121
ホワイトバランス	122
ハイライトトーン	126
シャドウトーン	126
カラー	127
シャープネス	127
ノイズリダクション	128
長秒時ノイズ低減	128
点像復元処理	129
色空間	129
ピクセルマッピング	130
カスタム選択	131
カスタム登録 / 編集	132

AF/MF 撮影メニュー（フォーカス設定）.....	133
フォーカスエリア選択.....	133
AF モード.....	134
AF-C カスタム設定.....	135
AF ポイント表示  	136
フォーカス点数切り替え.....	136
プリ AF.....	137
AF 補助光.....	137
顔検出 / 瞳 AF 設定.....	138
AF+MF.....	140
MF アシスト.....	141
フォーカスチェック.....	141
測光 & フォーカスエリア連動.....	142
ワンプッシュ AF 時の動作.....	142
被写界深度スケール.....	143
レリーズ優先 / フォーカス優先.....	143
タッチパネルモード.....	144
☐ 撮影メニュー（撮影設定）.....	147
シーン選択.....	148
ドライブ設定.....	149
セルフタイマー.....	151
インターバルタイマー撮影.....	152
測光.....	154
シャッター方式.....	155
ブレ防止モード.....	156
感度.....	157
マウントアダプター設定.....	160
ワイヤレス通信.....	163

4 撮影メニュー（フラッシュ設定）.....	164
フラッシュ機能設定.....	164
赤目補正.....	165
TTL-LOCK モード.....	166
LED ライト設定.....	167
MASTER 設定.....	168
CH 設定.....	168
5 撮影メニュー（動画設定）.....	169
動画モード.....	169
動画 AF モード.....	170
HDMI 出力情報表示.....	170
4K 映像出力先.....	171
HDMI レックコントロール.....	171
マイクレベル設定.....	172
マイク/リモートリリース設定.....	172

7 画像の再生と再生メニュー **173**

再生時の表示画面.....	174
情報表示の切り替え.....	176
再生方法.....	178
再生ズーム.....	179
マルチ再生.....	179
6 再生メニュー.....	180
RAW 現像.....	180
消去.....	183
トリミング.....	186
リサイズ.....	187
プロテクト.....	188

画像回転.....	189
赤目補正.....	190
ワイヤレス通信.....	191
スライドショー.....	191
フォトブックアシスト.....	192
PC 保存.....	194
プリント予約 (DPOF).....	195
instax プリンタープリント.....	197
表示比率.....	198

8 セットアップメニュー 199

☑ セットアップメニュー (基本設定)	200
フォーマット.....	201
日時設定.....	202
世界時計.....	203
言語/LANG.....	204
マイメニュー設定.....	204
センサークリーニング.....	206
電子音 & フラッシュ.....	206
リセット.....	207
☑ セットアップメニュー (音設定)	208
AF 合焦音量.....	208
セルフタイマー音量.....	209
操作音量.....	209
シャッター音量.....	210
シャッター音.....	210
再生音量.....	211

設定 セットアップメニュー（表示設定）	212
EVF 明るさ	212
EVF 鮮やかさ	213
LCD 明るさ	213
LCD 鮮やかさ	214
撮影画像表示	214
EVF 縦横自動回転表示	215
マニュアル時モニター露出 /WB 反映	215
モニター撮影効果反映	216
フレーミングガイド	217
縦横自動回転再生	218
距離指標の単位	218
画面のカスタマイズ	219
設定 セットアップメニュー（操作ボタン・ダイヤル 設定）	221
クイックメニュー登録 / 編集	222
Fn/AE-L/AF-L ボタン設定	224
セレクターボタン設定	226
コマンドダイヤル設定	226
半押し AF	227
半押し AE	227
レンズなしリリース	228
フォーカスリング	228
AE/AF-LOCK 設定	229
絞り設定	229
タッチパネル設定	230

F セットアップメニュー（消費電力設定）.....	231
自動電源 OFF	231
パフォーマンス	232
F セットアップメニュー（保存設定）.....	233
コマ NO.....	234
処理前画像記録	235
ファイル名編集	235
著作権情報.....	236
F セットアップメニュー（接続設定）.....	237
ワイヤレス設定	237
PC 保存先設定	238
位置情報設定.....	238
instax プリンター接続設定	239

9 ショートカット機能 241

ショートカット機能について.....	242
Q （クイックメニュー） ボタン.....	243
設定の確認と変更	245
クイックメニューの割り当て変更.....	246
Fn （ファンクション） ボタン.....	248
ファンクションボタンの割り当て変更	250
MY マイメニュー	252
マイメニュー設定	252

10 オプション品・外部機器の使い方 255

クリップオンフラッシュ	256
クリップオンフラッシュを設定する	257
シンクロターミナル	259
ポップアップ式フラッシュ	260
クリップオンフラッシュ	262
MASTER (光通信)	266
交換レンズ	271
レンズの各部名称	271
レンズキャップの取り外し方	272
レンズフードの取り付け方	272
絞りリング付きレンズについて	273
絞りリングなしレンズについて	274
手ブレ補正対応レンズについて	274
フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能な レンズについて	275
交換レンズのお手入れ	276

11 他機器との接続 277

HDMI 出力	278
撮影画面の出力	278
再生画面の出力	278
無線 LAN 機能で接続	280
スマートフォンと通信	280
パソコンに画像を保存	281
USB ケーブルでパソコンと接続	282

Windows をお使いの方	282
Mac OS X / macOS をお使いの方	282
カメラとパソコンを接続する	283
instax SHARE プリンターと接続	286
プリンターとの接続を設定する	286
画像をプリントする	287

12 資料

289

カメラで使えるアクセサリ	290
別売アクセサリ	290
お取り扱いにご注意ください	293
お手入れについて	310
センサークリーニング	311
ファームウェア更新情報	312
ファームウェアバージョンの確認方法	312
トラブルシューティング / FAQ	313
警告表示	327
標準撮影枚数 / 記録時間	334
主な仕様	335
索引	341
ソフトウェアのお問い合わせ	347
アフターサービスについて	348

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- バッテリーチャージャー BC-W126 (1 式)
- ボディキャップ (1 式)
- ストラップリング (2 個)
- ストラップリング取り付け補助具 (1 個)
- ストラップリングカバー (2 枚)
- ショルダーストラップ (1 本)
- 使用説明書 (本書)
- 保証書 (1 部)



レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。

本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ X-T20 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について



カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。



カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。



参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

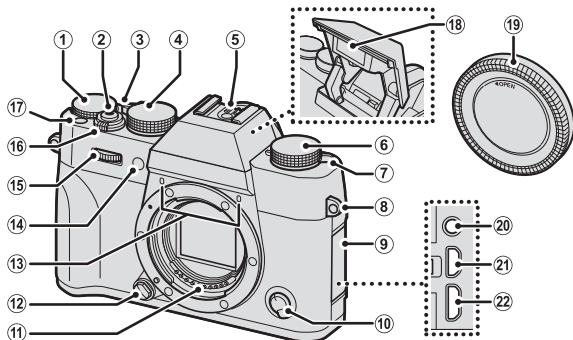
- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

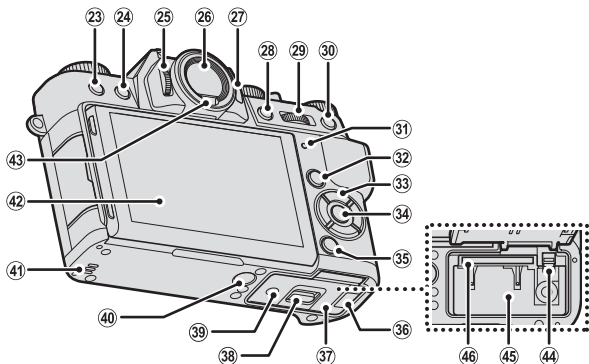
- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「EVF」、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。

このカメラの概要

各部の名称と機能



- | | |
|---|---|
| ① 露出補正ダイヤル 5、 91 | ⑬ マイク 172 |
| ② シャッターボタン 50 | ⑭ AF 補助光ランプ 137 |
| ③ オートモード切換レバー 7 | セルフタイマーランプ 151 |
| ④ シャッタースピードダイヤル
..... 5、 64、 72 | ⑮ フロントコマンドダイヤル
..... 8、 226 |
| ⑤ ホットシュー 256 | ⑯ 電源レバー 42 |
| ⑥ ドライブダイヤル 6 | ⑰ Fn1 ボタン 248 |
| ⑦ \downarrow (フラッシュポップアップ)
レバー 107 | ⑱ フラッシュ 107 |
| ⑧ ストラップ取り付け部 28 | ⑲ ボディキャップ 30 |
| ⑨ 端子カバー | ⑳ マイク/リモートリリース端子
(ϕ 2.5) 55、 68、 172 |
| ⑩ フォーカスモード切換レバー
..... 78 | ㉑ HDMI マイクロ端子 (Type D)
..... 278 |
| ⑪ レンズ信号接点 | ㉒ マイクロ USB 端子 (Micro-B)
USB2.0 35、 68、 283 |
| ⑫ レンズ取り外しボタン 31 | |




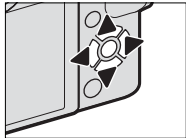
- | | |
|--------------------------------------|---|
| ②③ 𠂇 (消去) ボタン 52 | ③④ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン 4、13、20 |
| ②④ 𠂆 (再生) ボタン 51 | ③⑤ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン 16、176 |
| ②⑤ 視度調節ダイヤル 11 | ③⑥ DC カプラーカバー 290 |
| ②⑥ ファインダー (EVF) 12、14、15 | ③⑦ バッテリーカバー 36 |
| ②⑦ VIEW MODE ボタン 14 | ③⑧ バッテリーカバーロック 36 |
| ②⑧ AE-L (AE ロック) ボタン 93 | ③⑨ 銘板プレート 4 |
| ②⑨ リアコマンドダイヤル 9、178、226 | ④① 三脚用ねじ穴 58 |
| ③⑩ AF-L (AF ロック) ボタン 93 | ④② スピーカー 58 |
| ③① インジケータランプ 10、35 | ④③ 液晶モニター (LCD) 11、12、14、15 |
| ③② Q (クイックメニュー) ボタン 243 | ④④ アイセンサー 14 |
| ③③ セレクターボタン 4、226 | ④⑤ バッテリー取り外しつまみ 39 |
| | ④⑥ バッテリー挿入部 36 |
| | ④⑦ メモリーカードスロット 36 |

銘板プレートについて


FCC ID、KC マーク、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。

セレクトボタン

▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押してメニューなどの項目を選択できます。また、ファンクションボタン（Fn2～Fn5）としても使用できます（ 248）。

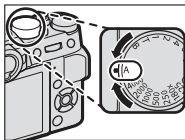


撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクトボタンと **Q** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

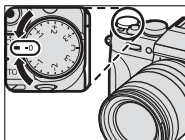
シャッタースピードダイヤル

シャッタースピード (**S.S.**) ダイヤルで、シャッタースピードを設定できます。



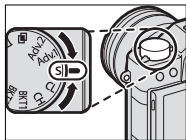
露出補正ダイヤル




露出補正ダイヤルで、露出を補正できます。



ドライブダイヤル

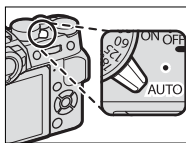
ドライブダイヤルで、ドライブモード
を選択できます。

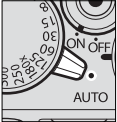
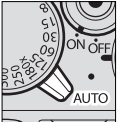




ドライブモード			ドライブモード		
	動画	54	S	1コマ撮影	48
BKT1 BKT2	ブラケットिंग	94	Adv.1 Adv.2	アドバンストフィルター	99
CH	高速連写	97		多重露出	101
CL	低速連写			パノラマ	103

オートモード切換レバー

オートモード切換レバーの位置で撮影できるモードが異なります。



オートモード 切換レバーの位置	撮影モード	📖
	<p>プログラムシフトができるオートモード（P：プログラム）、シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できるS（シャッタースピード優先）、A（絞り優先）、M（マニュアル）モードで撮影できます。</p>	62、64、69、72
	<p>カメラが撮影シーンを自動的に認識するSR⁺アドバンストSRオートや、自分好みに撮影シーンを決められる各種シーンで撮影できます（ドライブモードがAdv.1、Adv.2、、のときを除く）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SR⁺アドバンストSRオートや各種シーンはフロントコマンドダイヤルを回して変更できます。 	74

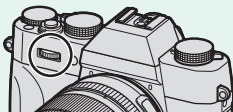


撮影モードや撮影条件によっては機能が制限される場合があります。

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

フロントコマンドダイヤル



回転

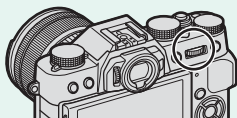
- メニュータブ、ページの切り替え
- 絞り値の変更
- オートモード撮影のときのシーンを選択
- 露出補正（露出補正ダイヤルがCの位置時）
- 前後の画像を表示（再生時）



中央押し

- 絞り値と露出補正の機能の切り替え（露出補正ダイヤルがCの位置時）

リアコマンドダイヤル



回転

- メニュー項目の選択
- プログラムシフト
- シャッタースピードの変更
- クイックメニューの設定値を変更
- フォーカスエリアのサイズ変更
- 画像を再生ズーム（再生時）
- 画像をマルチ再生（再生時）

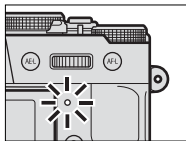


中央押し

- ファンクション（ダイヤル）ボタン
- マニュアルフォーカス時に長押しで、**MFアシスト**の設定切り替え
- ピント位置拡大表示（再生時）

インジケータランプ

インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



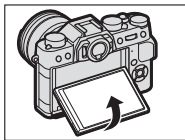
インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できません）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。




- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーをのぞいているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。

液晶モニター

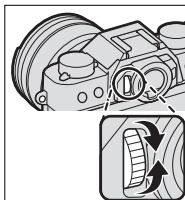
液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



 液晶モニターはタッチパネルとして操作できます（[書 22](#)、[144](#)）。

視度調節ダイヤル


ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は $-4 \sim +2 \text{m}^{-1}$ (dpt) です。



① フォーカスチェック89、141	②② 露出補正91
② 被写界深度確認70、89	②③ 絞り値63、69、72
③ 位置情報取得状態238	②④ シャッタースピード63、64、72
④ 動画モード54、169	②⑤ TTL ロック166、225、251
⑤ 動画撮影の残り時間54	②⑥ AE ロック92、93、227
⑥ 撮影可能枚数*334	②⑦ 測光モード154
⑦ 画像サイズ115	②⑧ 撮影モード62
画質モード116	②⑨ 合焦マーク79
⑧ 日付・時刻44、202、203	③⑩ マニュアルフォーカス87
⑨ AF フレーム82、92	③⑪ フォーカスモード78
⑩ 電子水準器18	③⑫ AF ロック92、93、227
⑪ AF 警告50、327	③⑬ AF+MF140
⑫ ホワイトバランス122	③⑭ シャッター方式155
⑬ フィルムシミュレーション118	③⑮ 連写モード97
⑭ ダイナミックレンジ121	③⑯ 露出インジケータ72、91
⑮ 温度警告333	③⑰ セルフタイマー151
⑯ ボタンロック4	③⑱ マイク/リモートレリーズ設定172
⑰ 電子音 & フラッシュ206	③⑲ フラッシュ (TTL モード)109
⑱ ヒストグラム19	調光補正109
⑲ 距離指標バー89	
⑳ バッテリー残量表示43	
㉑ ISO 感度157	

* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

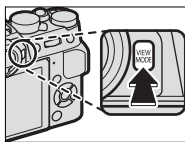
撮影時のボタンロックについて



MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます。



EVF と LCD の切り替え

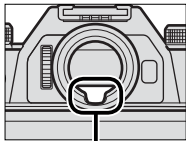
VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

アイセンサーについて

目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。



アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときには、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定** > **EVF 明るさ**、**EVF 鮮やかさ**でファインダー（EVF）の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定** > **LCD 明るさ**、**LCD 鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

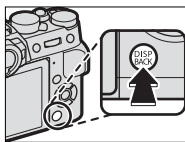
縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、**表示設定** > **EVF 縦横自動回転表示**を **ON** にすると、ファインダー（EVF）の情報表示が縦向きになります。

! 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

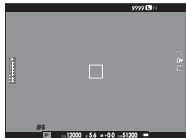
情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



ファインダー (EVF)

スタンダード



情報表示なし

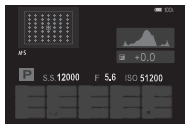


液晶モニター (LCD)

スタンダード



情報表示なし



INFO 画面

「スタンダード」画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

1 DISP/BACK ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。

2 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。

3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。画面に表示する項目には、**☑**が表示されます。**☑**が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

- フレーミングガイド
- シャッター方式
- 電子水準器
- フラッシュ
- AF フレーム
- 連写モード
- AF 時の距離指標
- プレ防止
- MF 時の距離指標
- タッチパネルモード
- ヒストグラム
- ホワイトバランス
- 撮影モード
- フィルムシミュレーション
- 絞り / シャッター速度 / ISO
- ダイナミックレンジ
- 情報表示背景
- 撮影可能枚数
- 露出補正表示
- 画像サイズ & 画質モード
- 露出補正ゲージ
- 動画モード & 録画時間
- フォーカスモード
- バッテリー残量表示
- 測光
- 画面枠

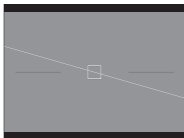
4 各項目を設定し、DISP/BACK ボタンを押します。

設定が保存されます。

5 DISP/BACK ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

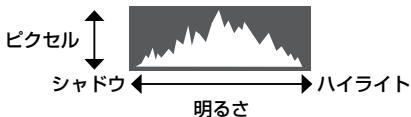


画面枠について

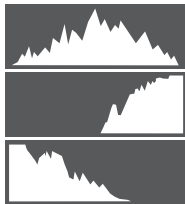
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

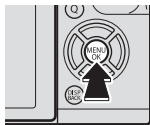


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。

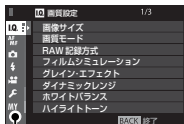


使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。




- 2 ◀ でタブ選択に移ります。



タブ

3 ▲ または ▼ で使用する項目のメニュータブ (IQ/AF/MF/☑/⚡/📷/MY/🔄/👤) を選びます。

4 ▶ でメニューに戻ります。

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。




タッチ操作について


このカメラでは、タッチ操作で静止画を撮影したり、フォーカスエリアを変更したりすることができます。1コマ再生時にはタッチ操作で前後のコマを表示させたり、画像を拡大表示したりすることができます。

撮影時のタッチ操作について

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタップするごとに、タッチ操作を変更できます。



タッチパネルモード	意味
ショット 	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタップして撮影します。
AF 	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タップした場所にピントを合わせ、AF ロックします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タップした場所にピントを合わせ続けます。
エリア選択 	フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。

タッチパネル モード	意味
OFF 	タッチ操作を使用しません。



- **操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定**が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- **フォーカス設定** > **タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。撮影時のタッチ操作の詳細については、**144** をご覧ください。

再生時のタッチ操作について

操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ

画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。



マルチタッチ (ピンチアウト)


画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。



マルチタッチ (ピンチイン)

画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。



 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

ダブルタップ

画面を2回タップすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。



ドラッグ

拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。



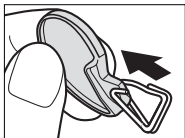
撮影の準備


2

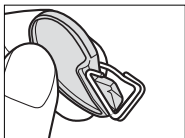
ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

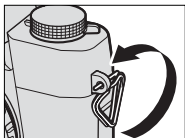
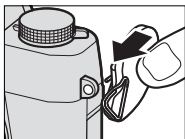
- 1 ストラップリング取り付け補助具を使ってストラップリングの切りこみを広げます。



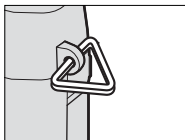
-  ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。



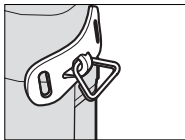
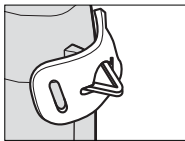
- 2 ストラップリングの切りこみをストラップ取り付け部に引っ掛けて、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



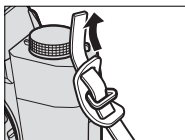
- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



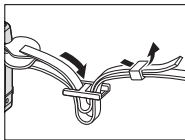
- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。



- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。



! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

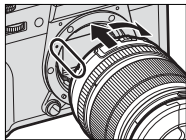


反対側も同様に、手順 1～5 を繰り返して取り付けます。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズが使用できます。

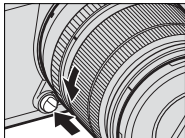
カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラにレンズを取り付けます。



- レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。



! レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズやアクセサリーが使用できます。

- !** レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことにご注意ください。
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
 - 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
 - レンズキャップを取り付けて行ってください。

バッテリーを充電する

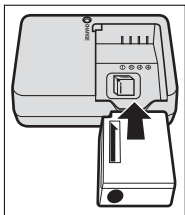
ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。
- 充電時間は約 150 分です。

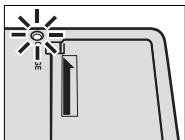
1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標（矢印）の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合っていることをご確認ください。



2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

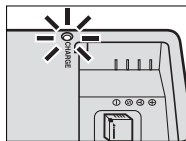
充電ランプが点灯して、充電を開始します。



3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。



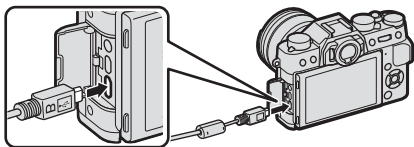
充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。



- 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-W126 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
- 付属の充電器は 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触(ショート)させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1 ~ 2 日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

パソコンに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。カメラの電源はオフにして、USBケーブルでパソコンと接続してください。



- インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

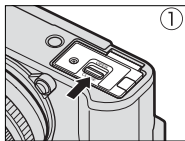
インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USBケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間は約 5 時間です。

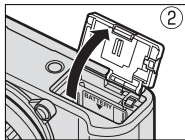
バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

- 1** バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



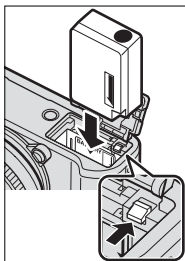
- カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



2 バッテリーを入れます。

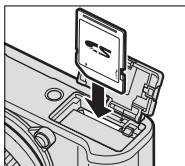
図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



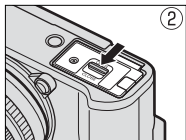
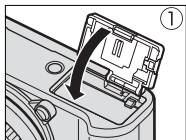
3 メモリーカードを入れます。

- ❗ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



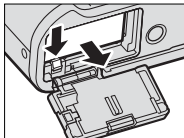
4 バッテリーカバーを閉めます。

! バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

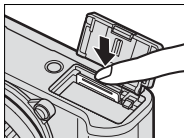
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



! 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- !**
- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押ししてください。
 - メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- このカメラでは、UHS-I のメモリーカードに対応しています。
- 動画撮影をするときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

! ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



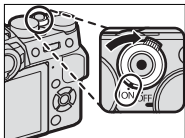


- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法がSDメモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- ◆** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。**消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



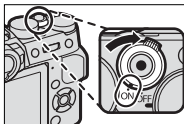
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。

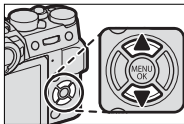
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



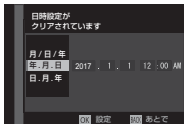
2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選び、
MENU/OK ボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。



5 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。




バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

設定の途中で **DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 言語/LANG. を選びます。

2 言語を設定します。

▲▼ で使用する言語を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 日時設定を選びます。

2 日時を設定します。

◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、

▲▼ で設定する数字を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定されます。

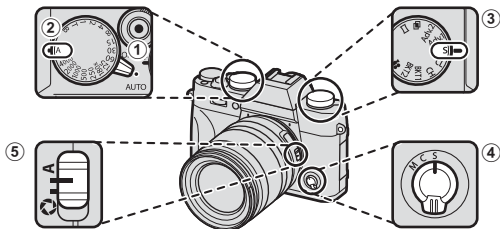
基本的な撮影と再生

3

プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「撮影モードを変更する」をご覧ください（[目録 62](#)）。

1 カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。



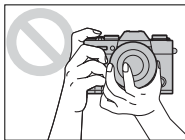
設定		
① オートモード切換レバー	●	7
② シャッタースピード	A (オート)	62
③ ドライブモード	S (1 コマ撮影)	6
④ フォーカスモード	S (AF-S)	78
⑤ 絞り設定	A (オート)	62

2 撮影画面に P が表示されていることを確認します。



3 カメラを構えます。

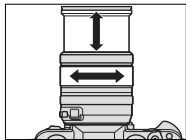
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



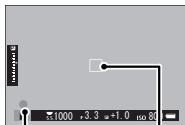
4 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



- 5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク
フォーカスフレーム

- ピントが合うと、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- ピントが合わないときは、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

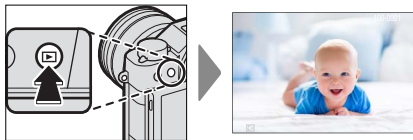
- 6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。



静止画を再生する


撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。




1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できません。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに （プレゼントアイコン）が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。




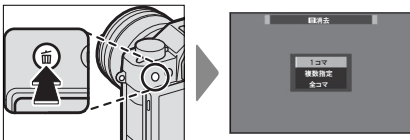
画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。



誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1コマ再生中に  ボタンを押して、1コマを選びます。



2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。




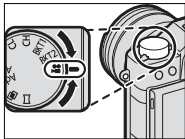
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (p.188)。
- **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (p.183)。

4 動画の撮影と再生

動画を撮影する

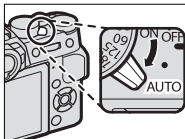
ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。


- 1 ドライブダイヤルを （動画）に合わせます。



- 2 オートモード切換レバーを **AUTO** の位置にします。

SR+ アドバンスド SR オートで動画が撮影されます。



動画モードが  のとき、またはオートモード切換レバーが ● の位置のときは、Pモードの動画を撮影できます (p.62)。

- 3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

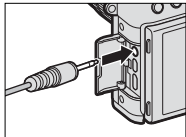
- 撮影中は、● が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。



- 4** もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。
残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクのプラグはプラグインパワーを必要としないφ 2.5mm ピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。





- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。
- ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます。
- 絞りモードスイッチの設定 (**A** または **A** 以外) は、動画撮影前に行ってください。絞りモードスイッチが **A** 以外のときは、動画撮影中もシャッタースピードや絞り値の設定を変更できます。
- 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。

動画の設定について


- 撮影メニューの **📹 動画設定** で動画の種類や動画サイズ、フレームレートなどを変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**📷 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** の顔検出が **ON** のときは、自動的に **C** (コンティニユアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出を **ON** にしても顔検出は行われません。

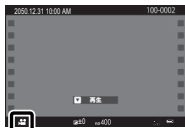
背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。

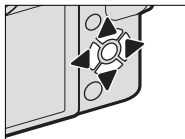
▶ 動画を再生する



撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。



動画再生時の操作は、セレクトターボタン (▲▼◀▶) で行います。



	 再生中	 一時停止中
▲ (上)	停止	
▼ (下)	一時停止	再生
◀▶ (左右)	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



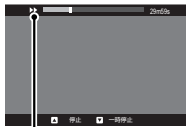
スピーカーを指などでふさがらないでください。音が聞き取りにくくなります。



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量** でも設定できます。

動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

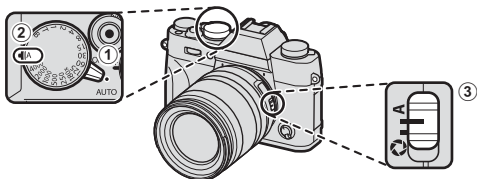
5 撮影に関する設定

撮影モードを変更する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更すると、P、S、A、Mで撮影できます。オートモード撮影では、カメラが撮影シーンを自動的に認識するSR⁺アドバンスドSRオートで撮影、または自分で好みの撮影シーンを決めて撮影できたりします。

プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。



設定

① オートモード切換レバー	●
② シャッタースピード	A (オート)
③ 絞り設定	A (オート)



表示画面に **P** が表示されます。

! 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



絞り値
シャッタースピード



次のとき、プログラムシフトは使用できません。

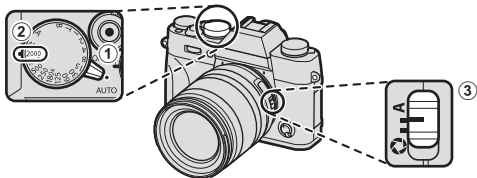
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- **画質設定** > **ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき
- 動画を撮影しているとき



電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。



設定	
① オートモード 切換レバー	●
② シャッタースピード	任意 (自分で設定)
③ 絞り設定	A (オート)



表示画面に **S** が表示されます。

- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「—」と表示されます。
- 📄 リアコマンドダイヤルでシャッタースピード (180X を除く) を $1/3$ 段きざみで微調整できます。
- シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。

シャッタースピード優先で ISO 感度を調整してみよう！

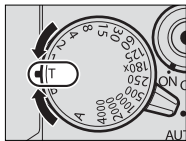
シャッタースピード優先でシャッタースピードをできるだけ高速側に設定し、ISO 感度を手動で設定します。低感度に設定していると、シャッタースピードを高速側に設定しているので、十分な光を取り込むため、絞りは自動的に開放寄りで撮影されます。ただし、被写界深度が浅くなりピントの合う範囲が狭くなる場合があります。このときに ISO 感度を高感度側に設定することで、お好みのシャッタースピードを保ちつつ、絞りをコントロールすることができ、被写界深度を深く調節できます。



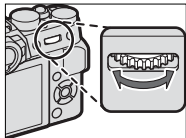
タイム撮影 (T)

シャッタースピードダイヤルを**T**に設定すると、タイム撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを**T**に合わせます。




- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。

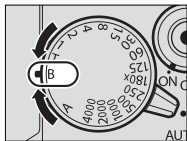
撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

バルブ撮影 (B)

シャッタースピードダイヤルを **B** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードダイヤルを **B** に合わせます。



- 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。

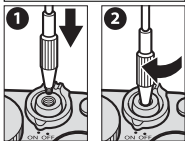
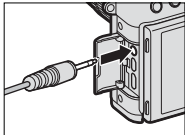
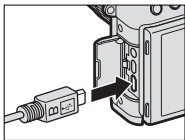



- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**IQ 画質設定** > **長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。

- 別売のリモートリリース RR-90 を使用するときには、マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 に取り付けます。
- 市販の電子式リモートリリースを使用するときには、マイク/リモートリリース端子 (φ 2.5mm 3 極ミニジャック) に取り付けます。
- 市販のメカニカルリモートリリースは図のように取り付けます。

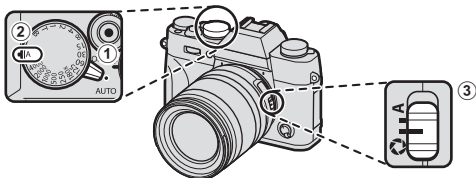


 マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を **リモートリリース** に設定してください。

マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK 決定 **BACK** スキップ

絞り優先 (A) 撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。



設定	
① オートモード 切換レバー	●
② シャッタースピード	A (オート)
③ 絞り設定	f/1.8 (自分で設定)



表示画面に **A** が表示されます。

- !
 - 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
 - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- 📷
 - 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
 - シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。



- 被写界深度を確認するには、以下の設定が必要です。
 - 表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に を入れる。
 - DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード**（情報表示あり）画面に切り替える。



被写界深度

- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール** で設定できます。**フィルム基準** はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準** はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

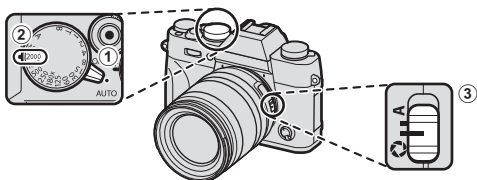
絞り優先で ISO 感度を調整してみよう！

絞り優先で絞りをできるだけ開放側に設定し、ISO 感度を手で設定します。絞りを開けているので、十分な光を取り込むことができますため、シャッタースピードは自動的に高速寄りで撮影されます。ただし、低感度では被写体ブレを軽減するほどのシャッタースピードにならない場合があります。このときに ISO 感度を高感度側に設定することで、お好みの被写界深度を保ちつつ、シャッタースピードをコントロールすることができ、被写体ブレを軽減できます。



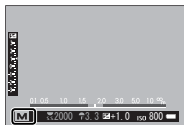
マニュアル (M) 撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー (明るい)」または「アンダー (暗い)」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



設定

① オートモード 切替レバー	●
② シャッタースピード	任意 (自分で設定)
③ 絞り設定	f/ (自分で設定)



表示画面に **M** が表示されます。



- 絞り値はレンズの絞りリングを回して設定します。
- リアコマンドダイヤルでシャッタースピード (180X を除く) を 1/3 段きざみで微調整できます。

露出設定プレビューについて

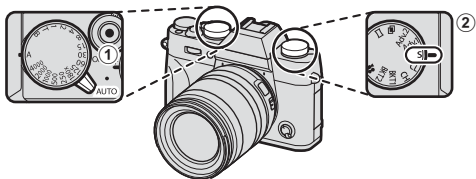
表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映が **OFF** 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

- フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映**を **OFF** にしてください。



オートモード撮影

オートモードで撮影するには、オートモード切換レバーを**AUTO**の位置にして、フロントコマンドダイヤルでシーンを選びます。










設定	
① オートモード 切換レバー	AUTO
② ドライブモード	S (1 コマ撮影)











A photograph of the camera's LCD screen. The screen shows a small square icon in the center, representing the selected scene. At the bottom of the screen, there is a small information bar with a battery level indicator.

表示画面に選択したシーンのアイコンが表示されます。

選べるシーンは以下のとおりです。

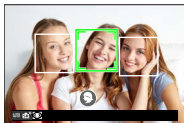
 撮影メニューの  撮影設定 > シーン選択からもシーンが選べます。

シーン	機能
 アドバンスト SR オート	シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌をなめらかに撮影します。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。

シーン	機能
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花	花を色鮮やかに撮影します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

SR⁺ (アドバンストSRオート)

SR⁺ アドバンストSRオートを選ぶとカメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。



☀️ : AUTO

🏔️ : 風景

🌃 : 夜景

📷 : 夜景 (三脚)

👁️ : マクロ

🏖️ : ビーチ

🌅 : 夕焼け

❄️ : スノー

🌤️ : 青空

🌳 : 緑

🌤️🌳 : 青空 & 緑

👤 : 人物

👤🌤️ : 逆光 & 人物

👤📷 : 動体

👤📷 : 人物 & 動き

👤🌤️📷 : 逆光人物 & 動き

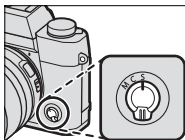


シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、適切なシーンを選んでください。

オートフォーカス撮影

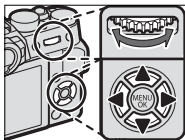
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定します (82)。



- 2 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (80)。

- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (82)。



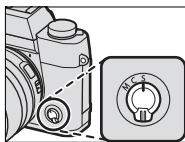
- 4 撮影します。



AF システムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



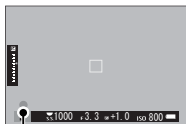
フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニューアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (87)。

- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AF** フォーカス設定 > プリ AF を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。
- フォーカスモードが **C** のときは、**AF** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の瞳 AF は機能しません。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。




合焦マーク



合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。

AF モードの選択

オートフォーカスモード（フォーカスモードが **S** または **C** のとき）と AF モードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。




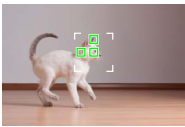
AF モードの設定方法


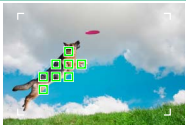
- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。
- 3 設定する AF モードを選びます。

 この設定はショートカット機能でも設定できます（ 242）。

AF モードの種類

- フォーカスモードが **S (AF-S)** のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定した 1 点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	

設定	用途例	作例
 ワイド/ トラッキング	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	


● フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体に、常にピントを合わせ続けます。	
 ワイド/ トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	

フォーカスエリアの変更

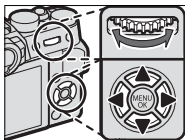
フォーカスモードが **S** または **C** のときのフォーカスエリアを変更できます。







フォーカスエリアの変更方法


- 1** MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2**  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
- 3** セレクターボタンとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します (📖 83)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はセレクターボタンで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。







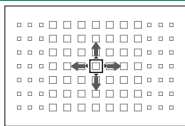
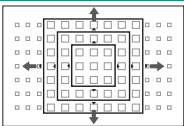
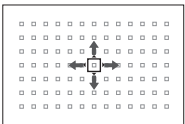
AFモード	セレクターボタン	DISP/BACKボタン	リアコマンドダイヤル	
		 4方向移動	 押す	 回す
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (5段階)	100%に戻る
			サイズ変更 (3段階)	
			なし	

 **AF-C** トラッキングのフォーカスエリアは、フォーカスモードがCのときのみ有効です。

フォーカスエリアの選択画面

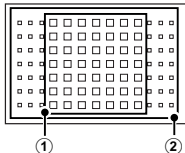
フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

		
		
AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を 91 と 325 から選べます。	91のフォーカスエリアポイントを 3×3、5×5、7×7の範囲で選べます。	フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、 MENU/OK ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。

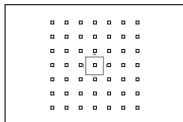
オートフォーカスが有効な範囲について

- ① インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF) と
- ② TTL コントラスト AF が有効な範囲は異なります。

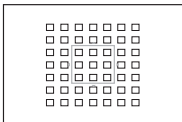


フォーカスエリアについて

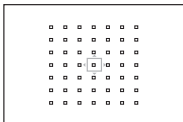
高速連写（CH）でフォーカスモードがCのときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



ワイド/トラッキング

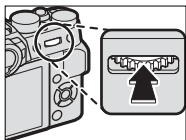
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

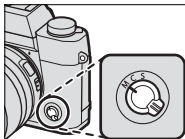


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**MF** フォーカス設定 > MF アシストでデジタルスプリットイメージを設定しているときは、倍率変更できません (141)。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF** モードをシングルポイントに設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **MF** フォーカス設定 > プリ AF が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定** で他の機能に割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てるともできます (224)。

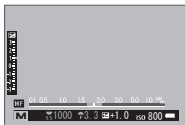
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

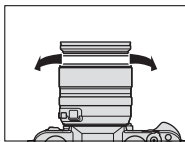


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。




- 3 撮影します。



- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **フォーカスリング** で設定できます。
- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカス切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

- **AF ロック**または **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。
-  **フォーカス設定 > ワンプッシュ AF 時の動作**で、**AF-L** 機能のファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニユアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。




拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

AF フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

MF フォーカス設定 > MFアシストの設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。デジタルスプリットイメージを設定しているときは、倍率変更できません。

画面に表示された画像で確認する

ピントの確認方法を **フォーカス設定 > MFアシスト** の **デジタルスプリットイメージ** または **フォーカスピーキング** から選べます。

 リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MFアシスト** の設定を切り替えることができます。

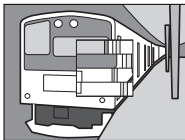
● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。

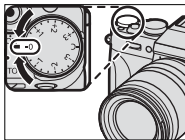




露出補正

画像の明るさを調整できます。

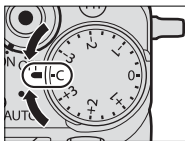
露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



モードによって補正段数が制限されることがあります。

C (カスタム) について

露出補正ダイヤルを **C** の位置にしてフロントコマンドダイヤルを押すと、露出が設定できます。フロントコマンドダイヤルで補正值を調整します。



- フロントコマンドダイヤルによる露出補正では、**±5** の範囲で補正が可能になります。
- フロントコマンドダイヤルを押すと、絞り値と露出補正を切り替えることができます。

AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。


2 シャッターボタンを半押しします。
被写体に露出が合い、AF フレームが
緑点灯します。



3 半押ししたまま構図を変えます。
被写体との距離は変えないでください。

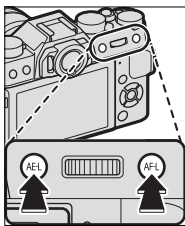




4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、
操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE を ON
にしておく必要があります。

ボタンによる AE/AF ロック

AE-L ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます。また、**AF-L** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。

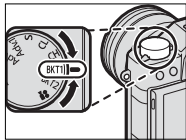


- **AE-L** ボタンまたは **AF-L** ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定**を押下切替にすると、**AE-L** または **AF-L** ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定**で、各機能に割り当てるボタンを変更できます。

BKT ブラケットング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケットング撮影ができます。

- 1 ドライブダイヤルを **BKT1** または **BKT2** (ブラケットング) に合わせます。



- 2 使用したいブラケットングの種類と設定値を **撮影設定** > **ドライブ設定** で選びます。

ブラケットングの種類	
	AE ブラケットング
	ISO ブラケットング
	フィルムシミュレーション BKT
	ホワイトバランス BKT
	ダイナミックレンジ BKT




この設定はショートカット機能でも設定できます (242)。

- 3 撮影します。

AE ブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。設定値は「適正」から $\pm 1/3$ ～ ± 2 の範囲を $1/3$ きざみで選べます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した設定値きざみで撮影されません。

ISO ブラケットング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度は ± 1 、 $\pm 2/3$ 、 $\pm 1/3$ から選べます。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。

ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから**±1**、**±2**、**±3**ステップの幅を設定できます。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。



ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO 800以上になり、ISO感度を**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3**に設定しているときはISO 200～800になることがあります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。



- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

ピントや露出について

- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。
- ピントと露出を自動で変えながら撮影したいときは、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にし、フォーカスモードを **C** に設定してください。

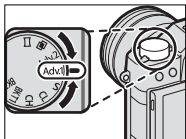



- **CH** (高速連写) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。
- **CH** (高速連写) 時での顔検出は、インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF) の範囲 (84) となります。
- 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効にならない場合があります。

ADV. アドバンストフィルター撮影

さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 ドライブダイヤルを **Adv.1** または **Adv.2** (アドバンストフィルター) に合わせます。
















- 2  **撮影設定 > ドライブ設定** で使用したいアドバンストフィルターを選びます。



この設定はショートカット機能でも設定できます (p.242)。

- 3 撮影します。

アドバンスフィルターの種類

 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部分を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	




被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならなかったりする場合があります。

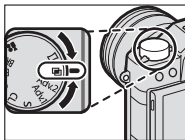


多重露出撮影

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 ドライブダイヤルを  (多重露出) に合わせます。



- 2 1枚目の画像を撮影します。

- 3 MENU/OK ボタンを押します。
2枚目の撮影画面になります。



- 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

4 2枚目の画像を撮影します。

1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。



5 MENU/OK ボタンを押します。


2枚の画像を合成した画像が保存されます。

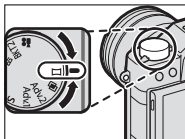


2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

パノラマ撮影

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 ドライブダイヤルを  (パノラマ) に合わせます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさ (**M/L**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

5 矢印方向にカメラを動かします。


ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

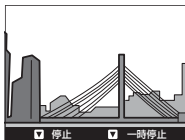
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35 mm (35 mm フィルム判で 50 mm 相当) 以下で撮影することをおすすめします。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます（ 操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE が ON のとき）。

パノラマ画像の再生

1コマ再生時にパノラマ写真を選択して▼を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



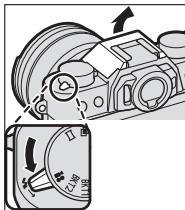
- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、セレクターボタンで行います。

	1コマ再生中	再生中	一時停止中
▲ (上)	—	停止	
▼ (下)	再生	一時停止	再生
◀▶ (左右)	—		コマ送り

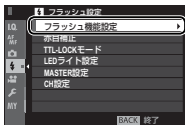
フラッシュ撮影

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1 **⚡** (フラッシュポップアップ) レバーを矢印の方向に引いて、フラッシュをポップアップします。



- 2 撮影メニューの **⚡** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。
ポップアップ式フラッシュの設定画面が表示されます。



この設定はショートカット機能でも設定できます (242)。

- 3 フラッシュの設定を変更します (109)。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。




- 4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
フラッシュモードが設定されます。



- ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
- フラッシュポップアップ部に触れると、エッジでケガをすることがありますのでご注意ください。
- 電子シャッターを使用しているときやパノラマ撮影などを行っているときは、フラッシュは発光しません。
- 撮影モードが **S** (シャッタースピード優先) または **M** (マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度 **180X** よりも長い時間に設定してください。







- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します (コマンダーモードを除く)。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
-  **基本設定 > 電子音 & フラッシュ** を **OFF** にしているときは、フラッシュは発光しません。

フラッシュ機能設定

ポップアップ式フラッシュでは、以下の項目を設定できます。



設定	説明										
① モード (発光モード)	フラッシュの発光モードを選びます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。</td> </tr> <tr> <td> (コマンダー)</td> <td>スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>フラッシュを使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。	 (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。	OFF	フラッシュを使用しません。
	設定	説明									
	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。									
	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。									
 (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。										
OFF	フラッシュを使用しません。										
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。										

設定	説明	
③ TTLモード	TTL撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。	
	設定	説明
	知 (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
	知 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
知 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	知 FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
知 REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**[F]** フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。**[M]** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を ON に設定する必要があります。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/180$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになるときのご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

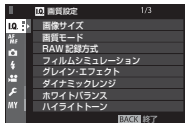
撮影メニュー

6

撮影メニュー（画質設定）

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
I.Q.（画質設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値		
L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)



画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます (P.250)。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE








RAW 記録方式




RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。 RAW FILE CONVERTER EX 2.0 などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。 非圧縮 に比べてファイルサイズが小さくなります。

フィルムシミュレーション


撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高めます。落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。

設定	説明
 ACROS*	質感が豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 モノクロ*	モノトーンの表現を活かしたモノクロです。さらに Ye 、 R 、 G のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。



- フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 242）。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。

<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>





グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

設定	説明
強	効果を強くします。
弱	効果を弱くします。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ



撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	 200%	
 400%		コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。











ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。




- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
-  **200%** は ISO 感度が ISO400 以上、 **400%** は ISO800 以上のときに設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
$\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (242)。

WB シフト


ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。**▲▼◀▶** でホワイトバランスのシフト量を調整します。



ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。


カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス (W1/W2/W3) を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

 **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「**OVER**」または「**UNDER**」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「**OVER**」と表示されたときは-（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「**UNDER**」と表示されたときは+（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。



色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



- 2 ▲▼ で色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- 4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値						
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定** タブを選びます。

2 **ピクセルマッピング** を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、**ピクセルマッピング** を実行します。

- ❗ 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数秒程度かかることがあります。

カスタム選択

カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

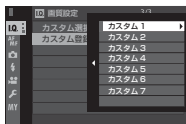
設定	説明
カスタム 1	カスタム登録 / 編集で保存したカスタム 1 ~ 7 設定を呼び出します。
カスタム 2	
カスタム 3	
カスタム 4	
カスタム 5	
カスタム 6	
カスタム 7	

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせ保存できます。保存した設定は、**画質設定 > カスタム選択**で呼び出せます。

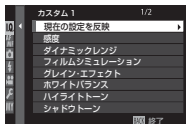
1 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 設定を保存したい場所をカスタム 1～7 から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

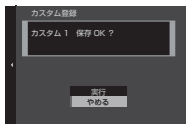



3 カスタムに保存できる項目は、個別に設定を変更できます。保存できる項目は次のとおりです。

- 感度
- ハイライトトーン
- ダイナミックレンジ
- シャドウトーン
- フィルムシミュレーション
- カラー
- グレイン・エフェクト
- シャープネス
- ホワイトバランス
- ノイズリダクション
- ホワイトバランス



4 **DISP/BACK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、設定が保存されます。

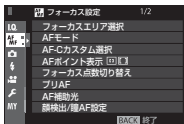



 現在の設定を反映を選択して **MENU/OK** ボタンを押すと、現在の設定がカスタム 1～7 に上書きされます。

撮影メニュー（フォーカス設定）

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
AF/MF（フォーカス設定）タブを選びます。






 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。 AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	<p>フォーカスモードが S のとき (ワイド): シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。</p> <p>フォーカスモードが C のとき (トラッキング): フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。</p> <p>小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1** ~ **5** を選びます。



設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるときや、 フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。

AF ポイント表示

AF/MF フォーカス設定 > **AF** モードがゾーンまたはワイド/トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
91 点 (7 × 13)	91 点 (7 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
325 点 (13 × 25)	325 点 (13 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ON にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF

! **ON** にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

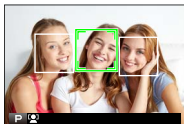
ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値	
ON	OFF

- !**
- シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
 - 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
 - 人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を **ON** にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** を **ON** にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。




設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。



- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 242）。

AF+MF

ON にすると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）のときにフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF

- **!** 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを **S**、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。

- **📷** MF アシストでスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

📷 フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にすると、**AF** モードがシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回すと 2.5 倍または 6 倍に切り替えることができます。

MFアシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが**M**のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタルスプリットイメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは モノクロ または カラー のいずれかを選べます。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

フォーカスチェック


ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが**M**のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光が  スポットで AF モードがシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

ワンプッシュ AF 時の動作

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）の **AF-L** ボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

レリーズ優先 / フォーカス優先





シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

タッチパネルモード


液晶画面（LCD）のタッチ操作で、撮影やフォーカスエリア選択ができるように設定できます。



静止画撮影時のタッチ操作



タッチパネルモード	意味
ショット 	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタップして撮影します。 <ul style="list-style-type: none">連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
AF 	<ul style="list-style-type: none">フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タップした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタップします。フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タップした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタップします。
エリア選択 	フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
OFF 	タッチ操作を使用しません。

動画撮影時のタッチ操作



動画撮影中にタッチ操作を行う場合は、撮影メニューの （動画設定）タブを選び、**動画 AF モード**を**エリア選択**にすることをおすすめします。タッチパネルモードによっては、動画 AF モードが**オートエリア**のままでも自動的に**エリア選択**に変更される場合があります。

タッチパネルモード	意味
ショット 	<p>シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタップして動画撮影を開始します。動画撮影を終了するときには、シャッターボタンを押してください。タップ操作はピント合わせとなり、動画は終了しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタップすると、タップした場所でピントを合わせ直します。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タップした場所にピントを合わせ続けます。
AF 	<p>ピントを合わせたいところの画面をタップして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタップすると、タップした場所でピントを合わせ直します。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タップした場所にピントを合わせ続けます。


タッチパネル モード	意味
エリア選択 	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタップすると、タップした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON の割り当てが必要です (p.225)。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タップした場所にピントを合わせ続けます。
OFF 	<p>タッチ操作を使用しません。</p>

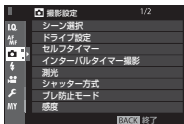



操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定が OFF のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

撮影メニュー（撮影設定）

撮影時の設定を設定できます。
















撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（撮影設定）タブを選びます。



 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



シーン選択

ドライブモードダイヤルを **S** に合わせて、オートモード切換レバーを **AUTO** にしたときの撮影シーンを選べます。

シーン	機能
 アドバンスト SR オート	シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌をなめらかに撮影します。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花	花を色鮮やかに撮影します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

ドライブ設定

ドライブモードの設定を変更できます。

設定	説明		
BKT1 設定 / BKT2 設定	ドライブモードが BKT1 または BKT2 のときのブラケティングの種類やそれぞれの設定を変更できます（  150）。		
CH 高速連写	ドライブモードが CH （高速連写）のときの連写速度を設定します。		
	設定値		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">14fps</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">11fps</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">8.0fps</td> </tr> </table>	14fps	11fps
14fps	11fps	8.0fps	
14fps、11fps は電子シャッター使用時のみ。			
CL 低速連写	ドライブモードが CL （低速連写）のときの連写速度を設定します。		
	設定値		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">5.0fps</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">4.0fps</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">3.0fps</td> </tr> </table>	5.0fps	4.0fps
5.0fps	4.0fps	3.0fps	
Adv. フィルター 1 設定 / Adv. フィルター 2 設定	ドライブモードが Adv.1 または Adv.2 のときのフィルター効果を設定します（  100）。		

BKT1 設定 / BKT2 設定

ドライブモードが **BKT1** または **BKT2** のときのブラケットングの種類やそれぞれの設定を変更できます。

設定	説明
BKT 選択	ドライブモードが BKT1 または BKT2 のときのブラケットングの種類を選びます。
	ブラケットングの種類
	 AE ブラケットング
	 ISO ブラケットング
	 フィルムシミュレーション BKT
	 ホワイトバランス BKT
 ダイナミックレンジ BKT	
AE ブラケットング	BKT 選択 が  AE ブラケットングのときの明るさの変化量を設定します。
	設定値
	± ¹ / ₃ ± ² / ₃ ±1 ±1 ¹ / ₃ ±1 ² / ₃ ±2
ISO ブラケットング	BKT 選択 が  ISO ブラケットングのときの变化量を設定します。
	設定値
	± ¹ / ₃ ± ² / ₃ ±1
フィルムシミュレーション BKT	BKT 選択 が  フィルムシミュレーション BKT のときに撮影する 3 枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ設定します (118)。
ホワイトバランス BKT	BKT 選択 が  ホワイトバランス BKT のときの变化量を設定します。
	設定値
	±1 ±2 ±3

セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。




設定	説明
🕒 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
🕒 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。



- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。





インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の**撮影間隔**と**撮影回数**を設定できます。





- 1 撮影メニューから  **撮影設定** > **インターバルタイマー撮影**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



- 2     で撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。
開始時間設定画面が表示されます。



- 3     で開始時間を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。





バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。








- 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売のACパワーアダプター AC-9V、DCカプラー CP-W126を併せてご使用ください。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- 撮影回数を∞に設定すると、メモリーカードに空きがなくなるまで撮影します。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

! 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**を **OFF** にしてください。

設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル+ ES 電子	カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。

ES 電子シャッターまたは MS メカニカル+ ES 電子に設定すると、シャッタースピードダイヤルを **4000** にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。



電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。

- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
- シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。







電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 12800 ~ 200、シャッタースピードは $1/32000$ ~ 30 秒に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
 常時+ 動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 常時	常に手ブレ軽減を行います。
 撮影時+ 動き認識	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードがCのときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードがCのときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。



- 感度を固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。
- 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
12800 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (51200) H (25600) L (100)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ以下の項目が設定できます。

それぞれの工場出荷時の設定は以下のようになっています。

設定	工場出荷時の設定値		
	AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	200		
上限 ISO 感度	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/60		

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。この時のシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。

マウントアダプター設定

別売の M マウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます。

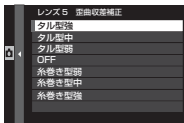
焦点距離設定

- ご使用のレンズの焦点距離が **21mm、24mm、28mm、35mm** のいずれかの場合は、マウントアダプター設定の**レンズ1～4**からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。
- **21mm、24mm、28mm、35mm** 以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ5**または**レンズ6**を選び、▶ を押して焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を ▲▼◀▶ で設定してください。



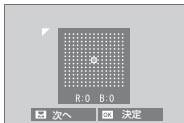
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



補正方法

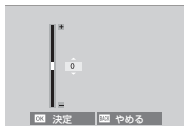
- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 ▲▼◀▶ で補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド/シアン（横軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー/イエロー（縦軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。



色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5** ~ **+5** と **0**（ゼロ）の計 11 段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。



周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>



撮影メニュー（フラッシュ設定）

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**⚡**（フラッシュ設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ」をご覧ください（[目次](#) 256）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光+ 補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。



- 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます (📖 250)。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

LED ライト設定

フラッシュのLEDビデオライトを静止画撮影時のAF補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LEDライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF補助光	AF補助光としてのみ使用します。
AF補助光+ キャッチライト	AF補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

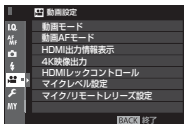
設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4



撮影メニュー（動画設定）

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（動画設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定		説明
2160/29.97 P 2160/25 P	2160/24 P 2160/23.98 P	フレームレートが 29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
1080/59.94 P 1080/50 P 1080/29.97 P	1080/25 P 1080/24 P 1080/23.98 P	フレームレートが 59.94 fps、50 fps、29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 1920 × 1080 の動画
720/59.94 P 720/50 P 720/29.97 P	720/25 P 720/24 P 720/23.98 P	フレームレートが 59.94 fps、50 fps、29.97 fps、25 fps、24 fps、23.98 fps の 1280 × 720 の動画

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。


HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

4K 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 カード	4K 映像はメモリーカードに記録され、外部レコーダーにはフル HD 映像が出力されます。
HDMI	映像はメモリーカードに記録されず、外部レコーダーに 4K 映像が出力されます。

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値	
ON	OFF

マイクレベル設定

内蔵マイクまたは外部マイクの音量を調節できます。





設定	説明
4 ~ 1	マイクレベルを調節してください。





- マイクレベルは、ピーク値を一定時間保持して表示します。
- 録音中でもマイクレベルを変更できます。ファンクションボタンに**マイクレベル設定**を割り当てておくと、動画記録中に割り当てたファンクションボタンを押してマイクレベルを調節できます。

マイク / リモートリリース設定

マイク / リモートリリース端子にマイクを取り付ける場合は

 **マイク**、リモートリリースを取り付ける場合は  **リモートリリース**を選択してください。

設定値	
 マイク	 リモートリリース

画像の再生と 再生メニュー

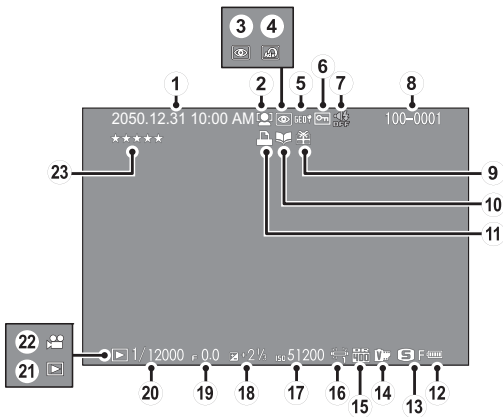
7

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。



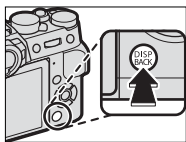
説明のため情報はすべて表示しています。



- | | | | |
|--------------------|---------|--------------------|----------|
| ① 日付・時刻..... | 44、202 | ⑬ 画像サイズ..... | 115 |
| ② 顔検出..... | 138 | 画質モード..... | 116 |
| ③ 赤目補正..... | 165、190 | ⑭ フィルムシミュレーション ... | 118 |
| ④ アドバンストフィルター..... | 99 | ⑮ ダイナミックレンジ..... | 121 |
| ⑤ 位置情報..... | 238、280 | ⑯ ホワイトバランス..... | 122 |
| ⑥ プロテクト..... | 188 | ⑰ ISO 感度..... | 157 |
| ⑦ 電子音 & フラッシュ..... | 206 | ⑱ 露出補正..... | 91 |
| ⑧ コマ NO..... | 234 | ⑲ 絞り値..... | 63、69、72 |
| ⑨ プレゼント..... | 51 | ⑳ シャッタースピード | |
| ⑩ フォトブックアシスト..... | 192 | | 63、64、72 |
| ⑪ プリント予約..... | 195 | ㉑ 再生モード..... | 51 |
| ⑫ バッテリー残量表示..... | 43 | ㉒ 動画アイコン..... | 58 |
| | | ㉓ お気に入り..... | 176 |

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



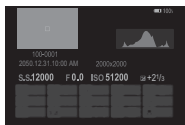
スタンダード



情報表示なし



お気に入り



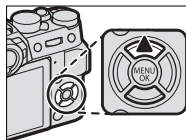
INFO 画面

お気に入りを設定する

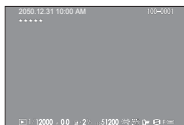
1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

撮影時の情報確認

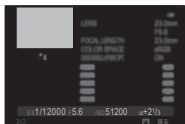
1コマ再生時に ▲ を押すと撮影時の情報を確認できます。



1コマ再生



INFO 画面 2

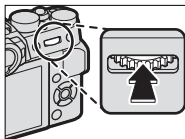


INFO 画面 1



ピントの位置を拡大表示する

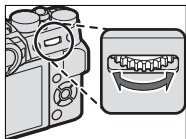
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



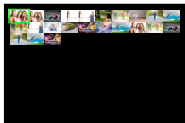
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK MENU/OK



再生ズーム



拡大再生 1



拡大再生 2



再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。



- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中に **▲▼◀▶** で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。



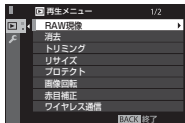
- ▲▼◀▶** で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示できます。
- ▲** または **▼** でページを切り替えることもできます。



再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

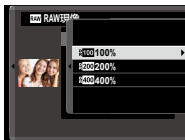
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 ▲▼ で変更する項目を選びます。

5 ▶ で設定の変更に移ります。



6 ▲▼ で設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。

保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押します。

JPEG 画像が保存されます。



RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できません。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまに近い写真を撮影できます。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加えます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

! 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。



- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を ▲▼◀▶ で選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。

消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、**!** が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2 回再生メニュー>トリミングを選びます。

3 リアコマンドダイヤルとセレクターボタンでトリミングしたい部分を調整します。

4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。




- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2になります。

リサイズ


撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2  再生メニュー > リサイズを選びます。

3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。


1 再生メニュー＞プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none">手順3のあとに ◀または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。


1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 回再生メニュー > 画像回転を選びます。

3 セレクターボタンの ▼ (時計回りに 90° 回転) または ▲ (反時計回りに 90° 回転) で画像を回転します。

4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  表示設定 > 縦横自動回転再生を **ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 回再生メニュー > 赤目補正を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの (👁️ が表示されている) 画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

操作方法

設定	説明
MENU/OK ボタン	スライドショーを開始 / 終了します。
DISP/BACK ボタン	スライドショー終了のガイダンスを表示します。
◀ または ▶	コマ送りします。



スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1 再生メニュー＞フォトブックアシストを選びます。

2 新規 **BOOK** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除し、▼ で表示されている画像を表紙にします。



- **640** 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

4 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 **MENU/OK** ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀または▶で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「**FUJIFILM PC AutoSave**」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

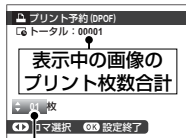
設定	説明
日付あり設定 <input checked="" type="checkbox"/>	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 DPOF 指定する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます
(最大 99 枚)。



DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。




プリント枚数

5 プリントしたいすべての画像に対して手順3と4を行います。

6 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。



- DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。

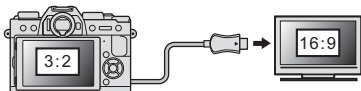


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		




16:9 に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。
3:2 に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

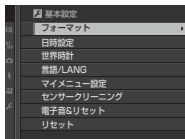
セットアップメニュー

8

セットアップメニュー (基本設定)

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**基本設定**を選びます。

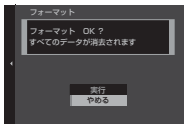


フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **フォーマット** を選びます。

- 2 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 3 **実行** を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。




- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。



皿（消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。



日時設定

日付と時刻を設定します。









- 1 セットアップメニューから  基本設定 > 日時設定を選びます。
- 2 ▲▼ で年月日の並び順を選びます。
- 3 ◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
 ホーム	現在設定されている日時を表示します。
 現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

-  現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
-
-   で設定する項目（+ / -、時、分）を選び、  で設定する数字を選びます。
-
- MENU/OK** ボタンを押します。
-   現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に  と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** を選びます。
メニューが表示されます。



順序変更 を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

- 2** 登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

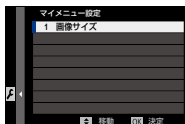
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3** 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニューが登録されます。



- 4** **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

- 5** 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。



最大 16 項目（8×2 ページ）のメニューが登録できます。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。



センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手でセンサーをクリーニングしてください。

電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定値	
ON	OFF

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。


- 1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

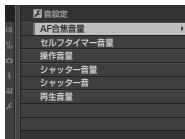
設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューの カスタム登録 / 編集 の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定、世界時計、接続設定 の接続に関する設定以外がリセットされます。

- 2 確認画面で実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

セットアップメニュー（音設定）





カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。







AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。




シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1サウンド1	シャッター音 1 に設定します。
 2サウンド2	シャッター音 2 に設定します。
 3サウンド3	シャッター音 3 に設定します。


再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
10 ~ 1	音量を 1 ~ 10 に設定します。
OFF	音量をオフに設定します。

セットアップメニュー (表示設定)

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**表示設定**を選びます。



EVF 明るさ

EVF (ファインダー) の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5 ~ -5 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

EVF 縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

! 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（**M**）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は OFF にしてください。




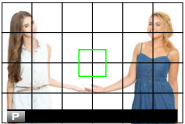


モニター撮影効果反映

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。
OFF	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンスフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	



フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください (📖 219)。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。

- 1 DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- セットアップメニューから **表示設定** > 画面のカスタマイズを選びます。
- 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
画面に表示する項目には、**✓** が表示されます。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	タッチパネルモード	<input checked="" type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input checked="" type="checkbox"/>
測光	<input checked="" type="checkbox"/>	画面枠	<input type="checkbox"/>

4 表示したい項目を選び、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。


5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

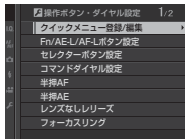


セットアップメニュー

(操作ボタン・ダイヤル設定)


カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1 セットアップメニューから  操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

- 2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> 測光 |
| <input checked="" type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input checked="" type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> 感度 |
| <input checked="" type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> タッチパネルモード |
| <input checked="" type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input checked="" type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 調光補正 |
| <input checked="" type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input checked="" type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> マイクレベル設定 |
| <input checked="" type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> 電子音 & フラッシュ |
| <input checked="" type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input type="radio"/> AF モード | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 | |



- ◎印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- **カスタム選択**を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。


3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。



クイックメニューの割り当ては、撮影画面で **Q** ボタンを長押ししても変更できます。

Fn/AE-L/AF-L ボタン設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1 セットアップメニューから  **操作ボタン・ダイヤル設定** > **Fn/AE-L/AF-L ボタン設定**を選びます。

2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- 感度
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- モニター撮影効果反映
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、**DISP/BACK** ボタンを長押ししても変更できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定** > **TTL-LOCK** モードで設定されているモードでロックできます（📖 166）。

セレクターボタン設定

セレクターボタンの設定を変更できます。

設定	説明
Fn ボタン	ファンクションボタンとして機能します。
フォーカスエリア	セレクターボタンでフォーカスエリアを選択できます。



フォーカスエリアのときは、ファンクションボタンに割り当てられている機能は使用できなくなります。

コマンドダイヤル設定

絞り値とシャッタースピードを操作するコマンドダイヤルのフロントとリアを入れ換えることができます。

設定	説明
▲F値 ▼S.S.	フロントコマンドダイヤルを絞り値、リアコマンドダイヤルをシャッタースピードに設定します。
▲S.S. ▼F値	フロントコマンドダイヤルをシャッタースピード、リアコマンドダイヤルを絞り値に設定します。

半押し AF

ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

設定	説明
ON	<p>フォーカスモードが S のとき (AF-S) : シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。</p> <p>フォーカスモードが C のとき (AF-C) : シャッターボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。</p>
OFF	シャッターボタンを押してもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時に AE ロック（露出を固定）します。

設定値	
ON	OFF



連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

レンズなしリリース

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

AE/AF-LOCK 設定

AE-L または AF-L 機能を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう1度ボタンを押すと解除されます。

絞り設定

絞りリングなしレンズを使用しているときの絞りの操作方法を選択できます。

設定	説明
オート+ ☉ マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。また、小絞り値からさらにダイヤルを回すと、 A （オート）も選べます。
オート	絞り設定がオートになります。プログラム（ P ）またはシャッタースピード優先（ S ）になります。
マニュアル	フロントコマンドダイヤルを回して、絞りの操作ができます。絞り優先（ A ）またはマニュアル（ M ）になります。


タッチパネル設定

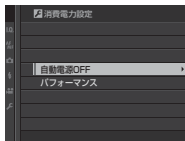
液晶画面(LCD)のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

セットアップメニュー (消費電力設定)

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、消費電力設定を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

カメラの AF 性能やバッテリーの持ち具合を設定できます。


設定	AF 性能 (速さ)	画質 (LCD/EVF) 表示 (なめらかさ、画質)	バッテリー の持続時間
ハイパフォーマンス	最速	最高画質	短い
スタンダード	標準	高画質	長い

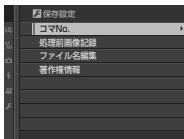


スタンダードに設定しているときに一定時間、何も操作をしないでいると、フレームレートが低下します。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。

セットアップメニュー (保存設定)

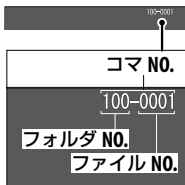
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**保存設定**を選びます。




コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
-  **基本設定 > リセット**を行っても**コマ NO.** はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	OFF

ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

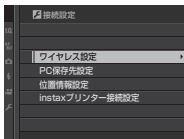
設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。



セットアップメニュー (接続設定)

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定** (セットアップ) タブを選び、**接続設定**を選びます。



ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
共通設定	<ul style="list-style-type: none"> 名前：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 設定初期化：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。
スマートフォン送信時 3M 圧縮	<p>スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時 3M 圧縮 を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ON：画像サイズを 3M に圧縮して送信します。ON での使用をおすすめします。 OFF：元画像のサイズのまま送信します。
PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> 保存先削除：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 前回接続情報：直近に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

設定	説明
簡単設定	無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。
手動設定	無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。



無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

設定	説明
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。



位置情報の取得方法については、以下のサイトをご覧ください。

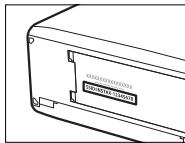
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面にSSIDが記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



ショートカット機能



ショートカット機能について

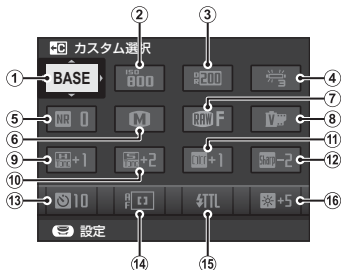
用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** メニューやマイメニューに登録して使用したり、**Fn** (ファンクション) ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	📖
Qメニュー	Q ボタンを押すと Q メニューが表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q メニューで設定値を変更することもできます。	243
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 MENU/OK ボタンを押して、 MY (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	252
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	248

Q (クイックメニュー) ボタン

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。



工場出荷時の設定

① カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ AF モード
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー(②～⑯)には、それぞれの設定値が表示されます。
各メニュー項目は、入れ換えることができます。

カスタム選択について

カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

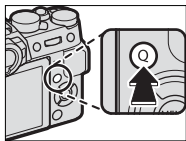
- **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- **C1 ~ C7** : **画質設定 > カスタム登録 / 編集** で登録されたカスタム設定を表示します。
- **BASE** ~ **BASE** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面で Q ボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- | | |
|---|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ | <input type="radio"/> MF アシスト |
| <input type="radio"/> 画質モード | <input type="radio"/> セルフタイマー |
| <input checked="" type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> 測光 |
| <input checked="" type="radio"/> グレイン・エフェクト | <input type="radio"/> シャッター方式 |
| <input checked="" type="radio"/> ダイナミックレンジ | <input type="radio"/> 感度 |
| <input checked="" type="radio"/> ホワイトバランス | <input type="radio"/> タッチパネルモード |
| <input checked="" type="radio"/> ハイライトトーン | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定 |
| <input checked="" type="radio"/> シャドウトーン | <input type="radio"/> 調光補正 |
| <input checked="" type="radio"/> カラー | <input type="radio"/> 動画モード |
| <input checked="" type="radio"/> シャープネス | <input type="radio"/> マイクレベル設定 |
| <input checked="" type="radio"/> ノイズリダクション | <input type="radio"/> 電子音 & フラッシュ |
| <input checked="" type="radio"/> カスタム選択 | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ |
| <input type="radio"/> AF モード | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input type="radio"/> AF-C カスタム設定 | <input type="radio"/> なし |
| <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 | |



- ◎印はカスタム登録が可能なメニューです。
- なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。
- カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

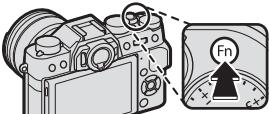
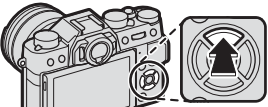
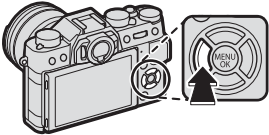
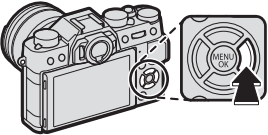


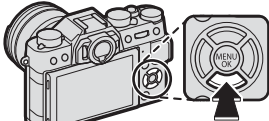
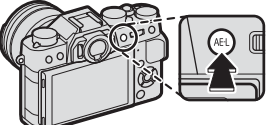
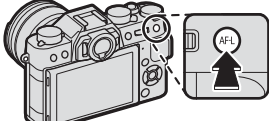
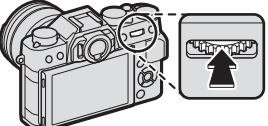
クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **クイックメニュー登録 / 編集**からも設定できます。

Fn (ファンクション) ボタン

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。

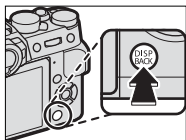
Fn1 ボタン	Fn2 ボタン
 <p data-bbox="205 704 358 733">ドライブ設定</p>	 <p data-bbox="627 704 750 733">AF モード</p>
 <p data-bbox="122 1026 436 1056">フィルムシミュレーション</p>	 <p data-bbox="570 1026 809 1056">フラッシュ機能設定</p>

Fn5 ボタン	AE-L ボタン
 <p data-bbox="212 376 474 409">フォーカスエリア選択</p>	 <p data-bbox="668 376 841 409">AE ロックのみ</p>
AF-L ボタン	リアコマンドダイヤル中央押し
 <p data-bbox="253 705 433 739">AF ロックのみ</p>	 <p data-bbox="637 705 872 739">フォーカスチェック</p>

ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。

- 1 撮影画面で **DISP/BACK** ボタンを長押しします。



- 2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- ドライブ設定
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- 感度
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- マイクレベル設定
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- モニター撮影効果反映
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- 絞り設定
- 再生モード
- なし

3 割り当てる機能を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- セレクターボタンだけで、2つ以上の機能を同時に動作させることはできません。
- ファンクションボタンの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定からも設定できます。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押してシャッターボタン半押しの状態を保つことができます。

モデリング発光の割り当て

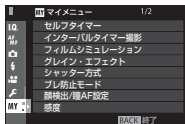
モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、 **フラッシュ設定** > **TTL-LOCK** モードで設定されているモードでロックできます (📖 166)。

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY**（マイメニュー）タブを選びます。

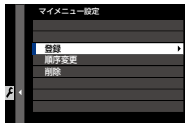


! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY**（マイメニュー）タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY**（マイメニュー）タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定**を選びます。
メニューが表示されます。



📁 **順序変更**を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除**を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

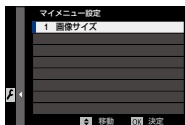
- 2** 登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

登録可能なメニューが青文字で表示されます。



登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

- 3** 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
マイメニューが登録されます。



- 4** **MENU/OK** ボタンを押します。
マイメニュー登録画面に戻ります。

- 5** 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。



最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

オプション品・外部機器 の使い方

クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使うと、ポップアップ式フラッシュよりも大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。



カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

クリップオンフラッシュを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **⚡ フラッシュ設定** > **フラッシュ機能設定** を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
内蔵フラッシュ	フラッシュをポップアップしている場合に表示されます。	107
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	262
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	266



フラッシュをポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクロターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**[F] フラッシュ設定 > 赤目補正** を **OFF** 以外に設定します。**[AF] フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** の **顔検出** を **ON** に設定する必要があります。

シンクローターミナル

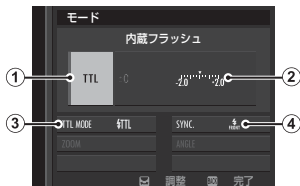
フラッシュをポップアップしていない場合や、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。







設定	説明	
① モード (発光モード)	シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。	
	設定	説明
	M	撮影に同期して、シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッター速度を設定してください。
OFF	シンクローターミナル、ホットシュー X 接点からトリガー信号を発行しません。	
② 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	

ポップアップ式フラッシュ

ポップアップ式フラッシュを使用するときに表示されます。



設定	説明										
① モード (発光モード)	フラッシュの発光モードを選びます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。</td> </tr> <tr> <td> (コマンダー)</td> <td>スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>フラッシュを使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。	M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。	 (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。	OFF	フラッシュを使用しません。
	設定	説明									
	TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。									
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。										
 (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときを選択します。										
OFF	フラッシュを使用しません。										
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。										

設定	説明	
③ TTLモード	TTL撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード（P、S、A、M）によって選択可能な設定が異なります。	
	設定	説明
	知 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
	知 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
TTL SLOW (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。	
	設定	説明
	FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	



















クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



設定	説明
① モード (発光モード)	フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。
設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。
Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光(マルチ発光)します。
OFF	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

設定	説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 • モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 ($1/1$) から $1/512$ 発光まで、$1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 • モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、$1/4$ 発光から $1/512$ 発光まで $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

設定	説明								
③ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  (フラッシュ発光 AUTO) </td> <td>被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>  (スタンダード) </td> <td>一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> <tr> <td>  (スローシンクロ) </td> <td>夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
	設定	説明							
	 (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。							
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
 (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
④ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  (先幕) </td> <td>シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</td> </tr> <tr> <td>  (後幕) </td> <td>シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</td> </tr> <tr> <td> AUTO FP(HSS) </td> <td>FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕 となります。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、 先幕 となります。	
設定	説明								
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。								
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。								
AUTO FP(HSS)	FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、 先幕 となります。								

設定	説明										
⑤ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。 AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。										
⑥ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (光量優先)</td> <td>フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</td> </tr> <tr> <td> (スタンダード)</td> <td>撮影画角に対して最適な照射角にします。</td> </tr> <tr> <td> (配光優先)</td> <td>照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。	 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。	 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。		
	設定	説明									
	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。									
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。										
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。										
⑦ LED ライト設定	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (キャッチライト)</td> <td>キャッチライトのみ使用します。</td> </tr> <tr> <td>AF (AF 補助光)</td> <td>AF 補助光のみ使用します。</td> </tr> <tr> <td> (AF 補助光+ キャッチライト)</td> <td>AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>どちらも使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。	AF (AF 補助光)	AF 補助光のみ使用します。	 (AF 補助光+ キャッチライト)	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。	OFF	どちらも使用しません。
設定	説明										
 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。										
AF (AF 補助光)	AF 補助光のみ使用します。										
 (AF 補助光+ キャッチライト)	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。										
OFF	どちらも使用しません。										
⑦ TIMES* (発光回数)	モードが Multi のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。										
⑧ Hz*(発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。										

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

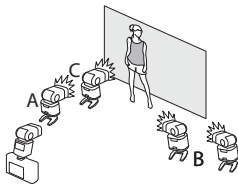
MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュを接続している場合に表示されます。


















富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



設定	説明											
① A グループ モード (発光モード)	それぞれのグループの発光モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。 • C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。 											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TTL</td> <td>TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>TTL%</td> <td>A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>M</td> <td>M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。</td> </tr> <tr> <td>Multi</td> <td>A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。	TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。	M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。	Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。	OFF
設定	説明											
TTL	TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。											
TTL%	A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。											
M	M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。											
Multi	A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。											
OFF	OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。											
② B グループ モード (発光モード)												
③ C グループ モード (発光モード)												

設定	説明								
④ A グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 								
⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 								
⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。								
⑦ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P 、 S 、 A 、 M) によって選択可能な設定が異なります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (フラッシュ 発光 AUTO)</td> <td>被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</td> </tr> <tr> <td> (スタンダード)</td> <td>一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> <tr> <td> (スロー シンクロ)</td> <td>夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。	 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。	 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
	設定	説明							
	 (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。							
 (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								
 (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。								

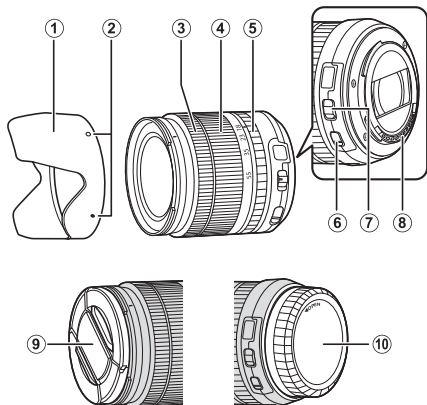
設定	説明								
⑧ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  (先幕) </td> <td>シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</td> </tr> <tr> <td>  (後幕) </td> <td>シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</td> </tr> <tr> <td>AUTO FP(HSS)</td> <td>FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッター速度に応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッター速度がフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードがMultiのときは、先幕となります。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。	 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。	AUTO FP(HSS)	FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッター速度に応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッター速度がフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードがMultiのときは、先幕となります。
	設定	説明							
	 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。							
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。								
AUTO FP(HSS)	FP(ハイスピードシンクロ)に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッター速度に応じて、FP(ハイスピードシンクロ)と先幕を自動で切り替えます。シャッター速度がフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードがMultiのときは、先幕となります。								
⑨ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTOの設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。								
⑩ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光(照射角)特性を変更できます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>  (光量優先) </td> <td>フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</td> </tr> <tr> <td>  (スタンダード) </td> <td>撮影画角に対して最適な照射角にします。</td> </tr> <tr> <td>  (配光優先) </td> <td>照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。	 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。	 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
	設定	説明							
	 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。							
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。								
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。								

設定	説明										
⑪ MASTER 設定 (MASTER 発光設定)	モードが TTL 、 TTL% 、 M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Gr A</td> <td>A グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>Gr B</td> <td>B グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>Gr C</td> <td>C グループに設定します。</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	説明	Gr A	A グループに設定します。	Gr B	B グループに設定します。	Gr C	C グループに設定します。	OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
	設定	説明									
	Gr A	A グループに設定します。									
	Gr B	B グループに設定します。									
Gr C	C グループに設定します。										
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。										
⑩ TIMES (発光回数)	モードが Multi のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。										
⑫ CH 設定	マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。										
⑫ Hz (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。										

交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称

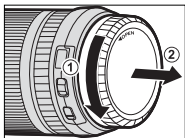
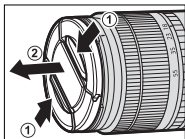


- ① レンズフード
- ② 取り付け指標
- ③ フォーカスリング
- ④ ズームリング
- ⑤ 絞りリング

- ⑥ OIS スイッチ
- ⑦ 絞りモードスイッチ
- ⑧ レンズ信号接点
- ⑨ レンズフロントキャップ
- ⑩ レンズリアキャップ

レンズキャップの取り外し方

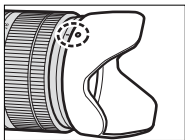
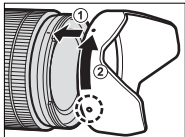
図のようにレンズキャップを取り外します。



! レンズキャップは形状が異なることがあります。

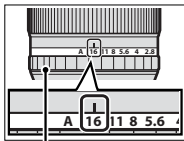
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。




絞りリング付きレンズについて

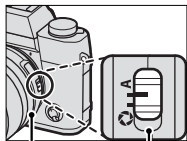
レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます (**A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) モードのとき)。



絞りリング

絞りモードスイッチがあるレンズの場合

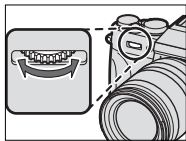
絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを  の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。

絞りリング
絞りモードスイッチ

絞りを **A** に設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞りを調整します。

絞りリングなしレンズについて

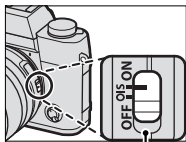
絞りリングなしレンズを使用しているときは、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **絞り設定**で操作方法を選択できます。絞り設定でオート以外を設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞りを調整します。



絞り設定調整の工場出荷時の設定は、フロントコマンドダイヤルに設定されています。**操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で、リアコマンドダイヤルに設定を変更することもできます。

手ブレ補正対応レンズについて

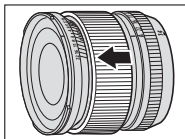
手ブレ補正対応レンズを使用しているときは、カメラのメニューでブレ防止モードを設定できます。レンズに手ブレ補正のスイッチ(OISスイッチ)がある場合は、OISスイッチを**ON**の位置に合わせると、手ブレ補正機能が使用できます。



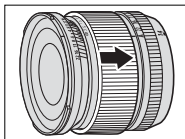
OIS スイッチ

フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて

- **AF** 時は、フォーカスリングをフロント側にセットしてください。



- **MF** 時は、フォーカスリングをリア側にセットしてください。



ライブビューで画像を確認しながらフォーカスリングを回し、ピントを調整してください。距離指標と被写界深度目盛を活用した目測による **MF** 撮影も容易に行えます。

- ❗ フォーカスリングをリア側 (**MF**) に移動しても、撮影モードによっては、**MF** 撮影できない場合があります。

被写界深度目盛

絞り値によるピントの合う範囲の目安は、被写界深度目盛で確認できます。

- レンズの被写界深度スケールは、フィルム基準です。



交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングキットを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

11 他機器との接続

HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

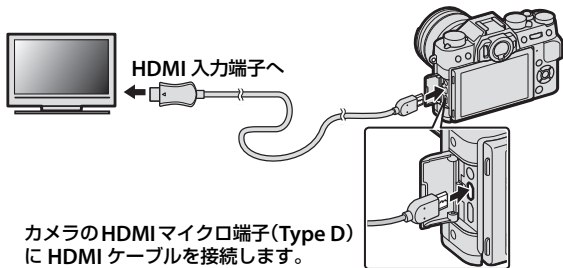
撮影画面の出力

4K 映像またはフル HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をオンにし、▶（再生）ボタンを押します。

カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。



音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線 LAN 機能で接続

カメラとスマートフォンやパソコンを無線 LAN で通信できます。

無線 LAN 機能の使用方法和アプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



スマートフォンと通信

☑ 撮影設定または 再生メニュー > ワイヤレス通信で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



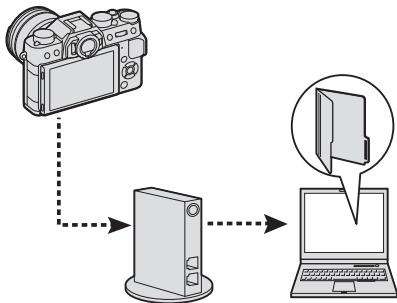
スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Remote**」をインストールしておく必要があります。

パソコンに画像を保存

再生メニュー > PC 保存で、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

USB ケーブルでパソコンと接続

Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は **MyFinePix Studio** を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。**MyFinePix Studio** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>

富士フィルム マイファインピックススタジオ



ダウンロードしたファイル「**MFPS_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X/macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

RAW 画像をパソコン上で現像するには

RAW FILE CONVERTER EX 2.0 を使うと、RAW 画像をパソコン上で現像できます。**RAW FILE CONVERTER EX 2.0** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

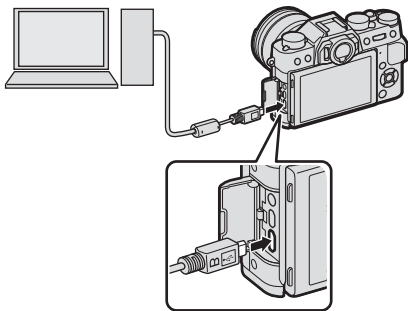
富士フィルム RAW ファイルコンバーター EX 2.0



カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 USBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



マイクロUSB端子（Micro-B）USB2.0のケーブルをお使いください。

-
- 4 カメラの電源をオンにします。
 - 5 MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
 - 6 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。



- USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、カメラの電源をオフにしたり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

instax SHARE プリンターと接続

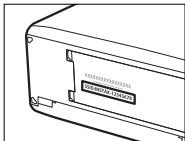
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

接続設定 > **instax プリンター接続設定**を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー> instax プリンター
プリントを選ぶと、カメラとプリン
ターの接続が開始されます。



連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

3 プリントしたい画像を選び、
MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

12

資料

カメラで使えるアクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html> をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。



バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126/NP-W126S を充電します。充電時間は約 150分 (+ 20°Cにおいて) です (AC100V ~ 240V、50/60Hz 対応)。



AC パワーアダプター AC-9V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V ~ 240V、50/60Hz 対応)。ご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-W126 と併用してお使いください。

DC カプラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-9V と併用してお使いください。

リモートリリース RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。



ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。



XF シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。



クリップオンフラッシュ EF-X500：ガイドナンバー最大 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのマスターフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24～105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180°です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。



クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24～105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能、マニュアル発光機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。単三電池 4 本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。単四電池 2 本を使用した小型、軽量なフラッシュで、TTL 調光補正、マニュアル発光強度をダイヤルで設定できます。



クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能のみを搭載しており、マニュアル発光には対応していません。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。



ハンドグリップ MHG-XT10：カメラのホールディング性を高めます。カメラに装着したままバッテリー/メモリーカードの出し入れが可能です。クイックシュー式の雲台に対応するアリガタレール形状をしています。

レザーケース BLC-XT10：本革製ケースです。カメラに装着したままの撮影や、バッテリーの出し入れが可能です。バッグに収納する際などにカメラを包むことができるラッピングクロスを同梱しています。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約1.4倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約2.0倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つMマウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2：撮影した画像を無線LANで送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

お取り扱いにご注意ください


ご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。



煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

⚠ 警告

内部に水や異物を落とさない。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。



接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（⊕ ⊖）表示どおりに入れてください。

⚠ 警告

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。



リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。

電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・ヤケドの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。



低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

⚠ 警告

- ❗ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。
- ❗ 可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。
- ❗ 電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。
- ❗ メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。
- ❗ メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ❗ 小さいお子様の手の届くところに置かない。
- ❗ 誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。
- ❗ 飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。
- ❗ 本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。
- ⊘ 異常な高温になる場所に置かない。
- ⊘ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。
- ⊘ 本製品の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が + 15℃ ~ + 25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるとありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。


■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- 、xD-Picture Card ™、xD-ピクチャーカード™は富士フィルム（株）の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
- HDMI ロゴは商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- スポンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。

- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



水をかけたり、水にぬらしたりしない。

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

分解禁止

火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

⚠ 警告

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接触禁止

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



レンズまたはカメラで直接太陽をみない。

失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。



逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。

太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。

使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。



太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶつかったりしてケガの原因になることがあります。

重要！本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

! 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。



2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

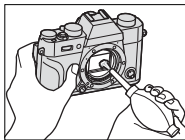
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ **基本設定** > **センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブロアーでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをブロアー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。
- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

- ❏ ブロアーはブラシの付いていないものを使用してください。ブロアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、再度ブロアーでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種種のファームウェア更新情報をご覧ください。
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

富士フイルム ファームウェア



ファームウェアバージョンの確認方法

! バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないとできませんので、ご注意ください。

- 1 カメラの電源をオフにします。
メモリーカードが入っていることを確認します。
- 2 **DISP/BACK** ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。
- 3 バージョンの確認ができれば、電源をオフにしてください。

📷 交換レンズのファームウェアバージョンは、カメラボディにレンズを装着して確認します。

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	冊	
バッテリー、電源について	ON/OFF （電源） レバーを ON に 合わせても電源 がオンになりま せん。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	32
		バッテリーを正しい向きで入れていませんか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	36
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	
	ON/OFF （電源） レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—	

症状		ここをチェック！	処置	📖
バッテリー、電源について	バッテリーの消耗が早いです。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	137
		同じバッテリーを長時間使っていますか？	バッテリーの寿命の可能性がります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	32
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	32
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—

症状		ここをチェック！	処置	📖
充電について	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	290 348

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	📖
メニューが日本語以外で表示されています。	言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	46 204

撮影時

症状		ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	36 183
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	201
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	36
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	32
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	42
		他社製のマウントアダプターを使用していませんか？	レンズなしリリースをON にしてください。	228
シャッターボタンを半押しすると、EVFやLCDにノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているため、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	

症状		ここをチェック！	処置	📖
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	92
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	10

症状		ここをチェック！	処置	📖
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	22
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	92

症状		ここをチェック！	処置	📖
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	107
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	32
		ドライブダイヤルが BKT1、BKT2、CH、CL になっていませんか？	ドライブダイヤルを S に設定してください。	6
		電子音 & フラッシュ が OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュ を ON にしてください。	206
		フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	107
	使いたいフラッシュ設定を選ばません。	電子音 & フラッシュ が OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュ を ON にしてください。	206
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッター速度で撮影していませんか？	シャッター速度が同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッター速度を同調速度以下に設定してください。	64 72

症状		ここをチェック！	処置	📖
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	276
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	49
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	50
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。	130
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用していませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	42
温度警告が表示されていませんか？				

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
動画再生について		カメラから音が出ません。	カメラの再生音量的設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。
	動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？		動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
	再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？		再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
	電子音 & フラッシュ が OFF に設定されていませんか？		電子音 & フラッシュ を ON にしてください。	206

症状		ここをチェック！	処置	📖
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	188
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	234


接続時



	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	278
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 VIEW MODE ボタンを押して、他の設定に変更してください。	
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USBケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	282
	撮影したRAWまたはJPEGなどの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	MyFinePix Studio (Windows) を使って、画像を取り込んでください。	

無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。

<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

症状	ここをチェック！	処置	
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	280
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	280
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	



症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンに送信できません。	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。動画は送信できません。	280
スマートフォンで受信した画像が開けません。	ワイヤレス設定のスマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	237

その他


症状		ここをチェック！	処置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	36
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	32
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
	カメラが正常に作動しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	36 348
音について	音がでません。	音設定 で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	208
		電子音 & フラッシュ が OFF に設定していませんか？	電子音 & フラッシュ を ON にしてください。	206
Q メ ニ ュ ー	Q ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK 状態になっていませんか？	TTL-LOCK を解除してください。	251

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">• 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。• 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直してください。• 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしてしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされて いません	メモリーカードが フォーマットされて いません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードが パソコンでフォー マットされています。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの 接触面（金色の部分） が汚れています。	メモリーカードの接触面を、 乾いた柔らかい布などでよく 拭いてください。また、フォー マットが必要な場合があります。 それでも警告表示が消え ない場合はメモリーカードを 交換してください。
	カメラが故障してい ます。	弊社修理サービスセンターに 修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に 異物が入っています。	カメラの電源をオフにして レンズを取り外し、異物を 取り除いて電源を入れ直し てください。それでも復帰 できないときは、弊社修理 サービスセンターに修理を ご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんで した	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限 です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 保存設定のコマ NO. を 新規 に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を 連番 に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。

警告表示	警告内容	処置
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🔊 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません 🔊 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
🔊 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
🔊 実行できません		
4K 設定とモニターが合っていません 動画モードを変更してください	HDMI 接続機器とカメラの動画モードが合っていません。	適切な動画モードに変更すると接続できる場合があります (📖 169)。

警告表示	警告内容	処置
!! (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。
!! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下する場合があります。また、動画撮影はできません。	

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード			
			8GB		16GB	
画質			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	3:2		540	800	1110	1660
	RAW (非圧縮)		150		320	
	RAW (ロスレス圧縮)		310		640	
動画 ^{*1}	2160/29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*2}		9分		20分	
	1080/59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*3}		26分		52分	
	720/59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*4}		51分		103分	

- *1 動画を撮影するときは、UHSスピードクラス3以上のメモリーカードをご使用ください。
- *2 連続して記録する場合、約10分で自動的に撮影を停止します。
- *3 連続して記録する場合、約15分で自動的に撮影を停止します。
- *4 連続して記録する場合、約30分で自動的に撮影を停止します。

! 動画を連続して撮影した場合、ファイルサイズが4GBを超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能です。動画ファイルは分割して保存されるため、それぞれのファイルごとに再生が必要です。

主な仕様

システム														
製品名	FUJIFILM X-T20													
製品型番	FF160006													
有効画素数	約 2430 万画素													
撮像素子	23.5mm × 15.6mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS Ⅲ、原色フィルター採用													
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード* (弊社推奨品)													
メモリーカード スロット	SD カード													
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠/DPOF 対応 非圧縮/ロスレス圧縮:RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり 動画：H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き 													
記録画素数	<table border="0"> <tr> <td>L 3:2 (6000×4000)</td> <td>L 16:9 (6000×3376)</td> <td>L 1:1 (4000×4000)</td> </tr> <tr> <td>M 3:2 (4240×2832)</td> <td>M 16:9 (4240×2384)</td> <td>M 1:1 (2832×2832)</td> </tr> <tr> <td>S 3:2 (3008×2000)</td> <td>S 16:9 (3008×1688)</td> <td>S 1:1 (2000×2000)</td> </tr> </table> <p>RAW (6000×4000)</p> <table border="0"> <tr> <td>L パノラマ縦 (2160×9600)</td> <td>L パノラマ横 (9600×1440)</td> </tr> <tr> <td>M パノラマ縦 (2160×6400)</td> <td>M パノラマ横 (6400×1440)</td> </tr> </table>	L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)	M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)	S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)	L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)	M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)
L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)												
M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)												
S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)												
L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)													
M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)													
レンズマウント	FUJIFILM X マウント													
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100、25600、51200 は拡張モード 動画：ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ) 													
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点 													
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル													
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：- 5EV ~ +5EV (1/3 段ステップ) 動画：- 2EV ~ +2EV (1/3 段ステップ) 													

システム

シャッター スピード

- **メカニカルシャッター**
 - Pモード時：4秒～ $1/4000$ 秒
 - 全モード合わせて：30秒～ $1/4000$ 秒
 - タイム：30秒～ $1/4000$ 秒
 - バルブ：最長60分
- **電子シャッター**
 - Pモード時：4秒～ $1/32000$ 秒
 - 全モード合わせて：30秒～ $1/32000$ 秒
 - タイム：30秒～ $1/32000$ 秒
 - バルブ：1秒固定
- **メカニカル+電子**
 - Pモード時：4秒～ $1/32000$ 秒
 - 全モード合わせて：30秒～ $1/32000$ 秒
 - タイム：30秒～ $1/32000$ 秒
 - バルブ：最長60分

連写

連写モード		選択可能な連写速度(コマ/秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数
CH	14fps*	14	約42コマ
	11fps*	11	約50コマ
	8.0fps	8.0	約53コマ
CL	5.0fps	5.0	約56コマ
	4.0fps	4.0	約58コマ
	3.0fps	3.0	約62コマ

















* 電子シャッター使用時のみ



- ご使用のメモリーカードによって異なります。
- 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

システム	
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> • モード：シングル AF、コンティニユアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式） • AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF + 位相差 AF）、AF 補助光付き • AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> • モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、コマンダー、発光禁止 • 同調モード：先幕、後幕 • 赤目補正：赤目抑制発光+補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/180$ 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー (EVF)	<p>0.39 型有機 EL ファインダー、約 236 万ドット ファインダー倍率 0.62 倍（35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m^{-1} のとき）、 対角視野 約 30 度（水平視野約 25 度）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 視度調節：$-4\text{m}^{-1} \sim +2\text{m}^{-1}$ (dpt) • アイポイント：約 17.5mm
液晶モニター (LCD)	タッチパネル付き 3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット、チルト式

システム

動画 (ステレオ 音声付き)	 2160/29.97 P	 1080/59.94 P	 720/59.94 P
	 2160/25 P	 1080/50 P	 720/50 P
	 2160/24 P	 1080/29.97 P	 720/29.97 P
	 2160/23.98 P	 1080/25 P	 720/25 P
		 1080/24 P	 720/24 P
		 1080/23.98 P	 720/23.98 P

入出力端子

デジタル入出力	マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 High-Speed
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
マイク/ リモート端子	φ 2.5mm 3 極ミニジャック

電源部、その他

電源	充電式バッテリー NP-W126S (付属)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	118.4mm × 82.8mm × 41.4 (31.9*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
撮影時質量	約 383g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
本体質量	約 333g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度：0℃～+ 40℃ 湿度：10%～80% (結露しないこと)

電源部、その他			
バッテリー 作動可能枚数/ 時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの種類：NP-W126S • XF35mmF1.4 R 使用時、P モード時 		
	静止画撮影枚数		
	パフォーマンス	LCD	EVF
	ハイパフォーマンス	約 260 枚	約 260 枚
	スタンダード	約 350 枚	約 350 枚
	1 回の充電で撮影できる合計動画時間		
	画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K	約 50 分	約 70 分	
HD	約 60 分	約 95 分	
CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。			
<ul style="list-style-type: none"> • 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少なくなり、時間は短くなります。 			

ワイヤレス転送部	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz～2462MHz(11ch) アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz～2472MHz (13ch)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

バッテリー NP-W126S	
公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

バッテリーチャージャー BC-W126	
定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	13～21VA
定格出力	DC 8.4V 0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126S
充電時間	約 150分 (+20℃において)
使用温度	5℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	65mm × 91.5mm × 28mm (突起物を除く)
質量	約 77g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

! 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

[A ~ Z]

- A** (絞り優先撮影)、69
- AE/AF-LOCK 設定、229
- AE/AF ロック、92
- AE-L** (AE ロック) ボタン、93
- AE ロック、93
- AF-ON、225, 251
- AF-L** (AF ロック) ボタン、93
- AF-C カスタム設定、135
- AF+MF、140
- AF モード、134
- AF (オートフォーカス)、77
- AF 警告、10
- AF 合焦音量、208
- AF 補助光、137
- AF ロック、92
- B** (バルブ撮影)、67
- C** (AF-C)、78, 135
- CH 設定、168
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、16, 176
- DPOF 指定、195
- EVF (ファインダー)、12, 14, 15
- EVF 明るさ、15, 212
- EVF 鮮やかさ、213
- EVF 縦横自動回転表示、15, 215
- Fn** (ファンクション) ボタン、248
- Fn/AE-L/AF-L ボタン設定、224
- FUJIFILM Camera Remote、163, 191, 280
- FUJIFILM PC AutoSave、194, 281
- FUJIFILM instax SHARE、197, 239, 286
- HDMI、170, 171
- HDMI ケーブル、278
- HDMI 出力情報表示、170
- HDMI レックコントロール、171
- instax プリンター接続設定、239, 286
- ISO 感度変更、157
- LCD (液晶モニター)、11, 14, 15
- LCD 明るさ、15, 213
- LCD 鮮やかさ、214
- LED ライト設定、167
- MASTER 設定、168
- MASTER (光通信)、266
- MENU/OK** ボタン、20, 114, 180, 200
- MF アシスト、141
- MyFinePix Studio、193, 282
- M** (マニュアルフォーカス)、87
- P** (プログラム撮影)、48, 62, 63
- PC 保存、194
- PC 保存先設定、238
- Q** (クイックメニュー) ボタン、243

RAW FILE CONVERTER EX 2.0、
282
RAW 画像、116
RAW 記録方式、117
RAW 現像、180
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、
40
S (シャッタースピード優先撮影)、
64
S (AF-S)、78, 80, 142
T (タイム撮影)、66
TTL、109, 110, 166
USB ケーブル、282
WB シフト、123

【あ】

アイセンサー、14
赤目補正、111, 165, 190, 258
アドバンスド SR オート、76
アドバンスドフィルター、99, 100
後幕シャッター、110, 259, 261,
264, 269
アフターサービス (修理)、348
アベレージ (測光)、154
位置情報設定、238
色温度、125
色空間、129, 182
インジケータランプ、10, 35
インターバルタイマー撮影、152
液晶モニター (LCD)、11, 16

オートパワーオフ (自動電源 OFF)、
231
オートフォーカス (AF) 撮影、77
オート (フラッシュ発光 AUTO)、
110
オートモード切換レバー、7, 54
オートモード撮影、74
お手入れについて、310
音設定、208
オプション品 (別売アクセサリ)、
290

【か】

海外で使うとき、304
外部フラッシュ (別売クリップオン
フラッシュ)、256
外部マイク、55, 172
顔検出 / 瞳 AF 設定、138
拡大表示、86, 89
画質設定、114
画質モード、116
カスタム (C)、91
カスタム選択、131
カスタム登録 (編集)、132
カスタムホワイトバランス、124
画像回転、189
画像サイズ、115
画面のカスタマイズ、17, 219
カラー、127
感度 (ISO 感度)、157
感度 AUTO 設定、158

- 基準 ISO 感度、158
- 基本設定、200
- 距離指標、89, 218
- 記録画素数、335
- クイックメニュー (Qメニュー)
 - ボタン、222, 243, 246
- クイックメニュー (Qメニュー)
 - 登録 / 編集、222
- クイックメニュー (Qメニュー)
 - 割り当て変更、246
- クリップオンフラッシュ、256, 257, 262, 291
- グレイン・エフェクト、120
- 減感 (増感 / 減感)、182
- 言語、46, 204
- 交換レンズ、271
- 工場出荷時 (リセット)、207
- 合焦マーク、79
- コマ NO. (コマナンバー)、234
- コマンドダイヤル、8
- コマンドダイヤル設定、226
- コンティニユアス AF (C)、78
- [さ]**
- 再生音量、211
- 再生時のタッチ操作について、24
- 再生時の表示画面、174
- 再生ズーム、179
- 再生方法、178
- 再生メニュー、v, 180
- 先幕シャッター、110, 259, 261, 264, 269
- 撮影画像表示、214
- 撮影時のタッチ操作について、22
- 撮影時の表示画面、12
- 撮影メニュー、iv, 113
- シーン選択、74, 148
- 自動電源 OFF (オートパワーオフ)、231
- 視度調節ダイヤル、11
- 絞り設定、229
- 絞り優先 (A) 撮影、69
- 絞りリング付きレンズ、273
- 絞りリングなしレンズ、274
- シャープネス、127
- シャッター音、210
- シャッター音量、210
- シャッタースピード、5, 336
- シャッタースピードダイヤル、5
- シャッタースピード優先、64
- シャッター方式、155
- シャドウトーン、126
- 消去、52, 183
- 消費電力設定、231
- 情報表示の切り替え、16, 176
- ショートカット機能、242
- 初期設定、44
- 処理前画像記録、235
- シングル AF (S)、78

- シングルポイント (AF モード)、
80, 81, 134
- スタンダード画面、17
- ズームリング、49
- ストラップ、28
- スポット (測光)、154
- スマートフォン、191, 280
- スライドショー、191
- スローシンクロ、110, 261, 264,
268
- 静止画 (再生)、51
- 静止画 (プログラム撮影)、48
- 世界時計、203
- 接続設定、237, 239
- セットアップメニュー、vi, 200
- セルフタイマー、151
- セルフタイマー音量、209
- セレクターボタン、4
- セレクターボタン設定、226
- センサークリーニング、206
- 操作音量、209
- 操作ボタン・ダイヤル設定、221
- 増感 (増感 / 減感)、182
- ゾーン (AF モード)、134
- 測光モード、154
- 測光&フォーカスエリア連動、142
- [た]**
 - ダイナミックレンジ、121
 - ダイナミックレンジ
ブラケティング、96
 - タイム撮影 (T)、66
 - 多重露出撮影、101
 - タッチ操作、22
 - タッチパネル設定、230
 - 縦表示、15
 - 縦横自動回転再生、218
 - 中央部重点 (測光)、154
 - 長秒時ノイズ低減、128
 - 著作権情報、236
 - デジカメプリント、195
 - デジタルスプリットイメージ、90
 - 手ブレ補正対応レンズ、274
 - テレビ接続 (HDMI 出力)、278
 - 電源、42
 - 電子音 & フラッシュ、206
 - 電子シャッター (シャッター方式)、
155
 - 電子水準器、18
 - 点像復元処理、129
 - 動画 AF モード、170
 - 動画再生、58
 - 動画撮影、54
 - 動画設定、57, 169
 - 動画モード、169
 - ドライブ設定 (ドライブモード)、
149
 - ドライブダイヤル、6
 - トリミング、186

【な】

長押し (DISP/BACK ボタン)、225, 250
長押し (MENU/OK ボタン)、4, 13
長押し (Q ボタン)、223, 246
長押し (ゴミ箱ボタン)、201
長押し (リアコマンドダイヤル中央)、9, 90
日時設定 / 日時変更、46, 202
ノイズリダクション、128

【は】

ハイスピードシンクロ (FP)、264, 269
ハイライトトーン、126
パソコン接続、282
発光モード、109, 259, 260, 262, 267
バッテリー、32, 36, 43
パノラマ撮影、103
パフォーマンス、232
バルブ撮影 (B)、67
半押し AF、227
半押し AE、227
光通信 (MASTER)、266
ピクセルマッピング、130
被写界深度確認、70
被写界深度スケール、143
被写界深度目盛、275
ヒストグラム表示、19
表示設定、212

表示比率、198
標準撮影枚数 / 記録時間、334
ピントの確認、89
ファームウェア更新情報、312
ファイル名編集、235
ファンクション (Fn) ボタン、248
フィルムシミュレーション、118
フィルムシミュレーション BKT、95
フォーカス位置拡大、140
フォーカスエリア選択、133
フォーカスエリア、82, 83, 84, 85, 133
フォーカスチェック、141
フォーカス点数切り替え、136
フォーカスピーキング、90, 141
フォーカスモード、78
フォーカス優先 (リリース優先 / フォーカス優先)、143
フォーカスリング、228
フォーマット (初期化)、201
フォトブックアシスト、192
ブラケティング撮影、94
フラッシュ撮影、107
フラッシュ設定 (撮影メニュー)、164
フラッシュ機能設定、109, 164
プリ AF、137
プリント予約 (DPOF)、195
フレーミングガイド、217

ブレ防止モード、156
プログラム (P) 撮影、48, 62
プログラムシフト、63
プロテクト、188
フロントコマンドダイヤル
(コマンドダイヤル)、8
別売アクセサリ、290
保存設定 (セットアップメニュー)、
233
ボタンロック、4, 13
ポップアップ式フラッシュ、260
ホワイトバランス、122
ホワイトバランスブラケティング、
96

【ま】

マイク / リモートレリーズ設定、
172
マイクレベル設定、172
マイクロ USB 端子、68
マイメニュー (マイメニュー設定)、
204, 252
マウントアダプター設定、160
マニュアル (M) 撮影、72
マニュアル時モニター露出 /
WB 反映、215
マニュアルフォーカス (M)、87
マルチ再生、179
マルチ (測光)、154
無線 LAN、280
メモリーカード、36

モニター撮影効果反映、216

【や】

4K 映像出力先、171

【5】

リアコマンドダイヤル
(コマンドダイヤル)、9
リサイズ、187
リセット、207
リモートレリーズ、68
レリーズ優先 (レリーズ優先 /
フォーカス優先)、143
連写 (連続撮影)、97
レンズ (取付)、30
レンズ (交換レンズ)、271
レンズキャップ、272
レンズフード、272
レンズなしレリーズ、228
露出補正、91
露出補正ダイヤル、5
ロスレス圧縮、117

【わ】

ワイド / トラッキング (AF モード)、
81, 85, 134
ワイヤレス設定、237
ワイヤレス通信、191
ワンプッシュ AF 時の動作、142

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書(本書)やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？

● ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名
ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フィルムFinePixサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL **050-3786-1060** ご利用いただけない場合は **0228-30-2992**

FAX **050-3786-2060** 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

■修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口 **富士フィルム修理サービスセンター**

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL **050-3786-1040**

FAX **050-3786-2040** 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■修理品ご送付受付窓口 **富士フィルム修理サービスセンター**

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも【FinePixクイックリペアサービス】

お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の「修理ご相談受付窓口」にてご確認ください。

●本製品以外の富士フィルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL **050-3786-1711**

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

